

かしこい食の選択者
ー見直そうあなたの食生活ー

講 師 黒川 順子
司 会 立川 富美代

1 都民の栄養状況

栄養改善の資料として、毎年1回実施している国民栄養調査結果の都民分をみると、次のような特徴がある。すなわち、平均栄養所要量に対して、カルシウム(87%)とビタミンD(88%)のみの摂取量が不足しているが、それ以外の栄養素等の摂取量はいずれも所要量を超えている。この調査は、終戦直後の昭和20年、GHQから食糧援助を受けるための基礎資料を得るために始められたものであるが、カルシウムは、それ以来一度も所要量を満たしたことの無い唯一の栄養素である。中・高年層の人々は比較的注意してカルシウムを取っているが、10代、20代の人々の摂取が足りない。骨の形成に大事な思春期にダイエットするなどこの時期にカルシウムの摂取が不足すると、老いてからの骨粗しょう症の遠因ともなるので、若い人達の食生活を見直し、改善を指導していくことが大切である。

一方、脂質は取り過ぎ(111%)の傾向が続いている。この背景としては、油を使う調理形態が多くなってきたこともあるが、食生活のスタイルが、和風中心から肉、乳製品主体の洋風へと大きく変化してきたことが挙げられ、栄養バランス上の大きな問題となっている。

2 保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品)

食品の機能として、栄養素としての働き(一次機能)、感覚や嗜好面での働き(二次機能)のほかに、免疫、内分泌や神経系への調整作用など生体を調節する働き(三次機能)の研究が、15年ほど前から進められてきた。病気の一次予防に有効な新食品、生活習慣のリスクを低下させる新食品などは、機能性食品と呼ばれており、平成3年、栄養改善法施行規則の「特定保健用食品」として、商品に特定の目的が期待できる旨の表示をすることが認められた。その後ほぼ10年を経て、現在二百数十種の特定保健用食品が出回っている。これらには、「厚生労働省許可、特定保健用食品」のマークが表示されるとともに、原材料名、内容量、許可表示内容、1日あたりの摂取目安量、摂取方法および摂取上の注意事項などが詳細に記載されている。さらに平成13年4月には、①国民の健康に対する関心の高まり、②技術革新による新しい食品の開発、③規制緩和の流れや国際化による食薬区分の見直しの必要性、④いわゆる健康食品の氾濫による健康危害や苦情の出現、などの諸事情を背景に、いわゆる健康食品のうち、国の規格基準を満たすものを「保健機能食品」として販売することを認め、その目的、機能に応じて従来からの「特定保健用食品」と「栄養機能食品」とに分けて位置づけることとなった。この制度は、消費者が安心して食生活の状況に合わせた栄養補給、健康増進が出来るよう、必要な情報を適切に提供していこうとするもので、従来医薬品として扱われてきたビタミン、ミネラル、ハーブ等も食品として取り扱うこととなった。

「特定保健用食品」は、膨大なデータを厚生労働省に提出して健康に役立つ効用が科学的に証明され、個別に許可されるものである。

一方、「栄養機能食品」は、一定の規格基準を満たせば個別の許可は不要で、製造、販売者の責任において栄養成分、機能等を表示して販売するものである。今回定められた栄養機能食品は、ミネラル類ではカルシウム、鉄の2種、ビタミン類で12種の計14種であるが、今後他のミネラル、ビタミン、ハーブ類等についても検討される予定となっている。これらの栄養機能表示は、国の定めた表現(例えば「鉄は、赤血球を作るのに必要な栄養素です」等)どおりでなければならないが、また1日の摂取目安量等、使用上の注意喚起表示が付されている。例えば、ビタミン類の葉酸については、「・・・胎児の正常な発育に寄与する栄養素ですが、多量摂取により胎児の発育が良くなるものではありません」との表示が付けられている。本来、葉酸は野菜に多く含

まれており、普通の食生活をしていけば不足することはないが、若い人達は毎日外食に依存するなど、とにかく食生活がアンバランスになりがちなので、こうした場合に生じる不足を補おうとするものである。

3 BMI 22、健康日本21

自分の標準体重を知り、生活習慣を見直しつつ体重のコントロールを心掛けることが、肥満防止に役立つといわれている。肥満の判定基準としては、BMI (Body Mass Index、日本肥満学会) という指標を用いることが一般的である。

$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

疫学調査によるとBMI=22のときが最も病気にかかりにくいといわれ、「18.5～25未満」が普通、「25以上」が肥満、「18.5未満」がやせとされる。

『健康日本21』とは、国が、2000年4月に21世紀の国民健康づくり運動として提唱したものである。これは、21世紀には超高齢化社会を迎えること、これに伴い医療費の増大も避けられないこと、などの情勢を踏まえて、できるだけ生活習慣病の発症を押さえ、寝たきりの発生を防ぐなど健康な長寿社会の実現を目指すものである。

特徴としては、9領域(栄養、食生活、循環器、がん、糖尿病等)70項目にわたって数値目標が設定されたことで、都でも昨年10月「東京都健康推進プラン21」を策定した。今後、市町村ベースでも策定していくこととなっている。

都のプランでも詳細な数値目標が定められているが、栄養、食生活分野では、次の点をとくに強調しておきたい。

- ①朝食をキチンと取ること ～朝食欠食者の割合、20歳代男性37%、30歳代同20%、20歳代女性14%、中・高校生18%→できるだけ減らす。
- ②食塩の摂取量を減らすこと ～1人1日12g→10g未満に。
- ③野菜の摂取量を増やすこと ～成人1人1日306g→350g以上に。最近の研究の結果、野菜に含まれるビタミンの抗がん作用、ベータカロチンの抗酸化作用などの効用が分かってきたので、目標値が引き上げられた。
- ④一日最低一食、きちんとした食事を二人以上で楽しく、30分以上かけて食べること ～このような食事をしている人、男性61%、女性72%→増やす。

休憩時間を利用して、八王子レクリエーション協会、宮城安子さんにより健康体操の手ほどきとして「トリム体操」の指導があった。

(記録 佐々木 研吾)

講師

八王子保健所栄養指導担当

『透谷と漱石』副題 猫と幻境

講 師 小澤 勝美

司 会 西志村 光治

講 師：昭和41年頃より八王子に住む。八王子市主催各種文化的行事に数多くの貢献。法政大学教授。著書も多く、特に夏目漱石、北村透谷に関する研究書が注目されている。『透谷と秋山国三郎』清水工房、『北村透谷―願像と水脈―』頸草書房、『透谷と漱石―自由と民権の文学―』双文社出版、「透谷・漱石・独立の精神」勉誠出版

1 近代日本の原点を見直す

近代日本の原点を何処に置くか。「明治維新」に置くのが一般的である。しかし、私は「ニセ近代」という言葉をよく使っているが、漱石も日本の近代は「ニセモノ」と言っている。また、漱石は『吾輩は猫である』という作品の中で、近代社会の悲観的な未来像として結婚不可能説を説いている。

近代社会は四民平等となり、日本人は自我に目ざめ自我意識が強くなり、皆、己を主張し始めて、まず親子関係における断絶が起り、やがてそれは夫婦に及んで、将来の若者達が結婚出来なくなることを予言している。その予言通り最近結婚したがない若者が増えている。今考えると漱石は100年先の世の中を見通して『猫』や他の作品を書いていたことが分る。また漱石は近代日本における倫理についても重視しており、多くの作品の中からそれが証明出来る。これは透谷についても同じであって、そこに今日二人を取り上げる意義が存在する。

2 漱石と「猫」

(1) 「吾輩」と「猫」のコントラスト

「吾輩は猫である。名前はまだない」この書き出しはまことに面白い。何故だろう？「吾輩」という言葉は明治の政治家、弁士の権威主義的なイメージがあるのに、「猫」はおおよそ権威とは縁のない、日常的なイメージがある。また、広辞苑で「猫」の箇処を見ると、「猫の目」の説明では、朝・昼・晩で形が変わると書かれている。漱石はこの猫の目のようにいろいろな角度から物事を相対的に見ることの大切さを告げたかのように思える。「吾輩」と「猫」という価値に落差のある言葉を並べたことで滑稽さとおかしみを生み出している点にも注目すべきであり、これは俳諧の世界でも行われていることである。秋山国三郎の『安久多草紙』の安久多→「芥」、二葉亭四迷の「くたばってしまえ」、『三日幻境』に出てくる大矢蒼海も「おやそうかい？」の関係を見ても分る。次に「名前はまだない」という文章を見ると、猫の無名性には漱石の自由への憧憬を見ることが出来るともいえる。

(2) 経世済民の学としての文学

漱石は明治39年10月21日付森田草平宛の書簡の中で「僕はサボテン党でも露西亜党でもない。猫党にして滑稽的+豆腐屋主義と相成る…」と書いている。

これは漱石がサボテン党＝日本趣味一辺倒でもなく、露西亜党＝西洋文学一辺倒でもなく、猫の目のように視点をえつつ何れをも相対化し滑稽化する「猫党」と名付けるのがふさわしい文学観と方法を信条としていた事がわかる。また豆腐屋主義にある豆腐屋には民権思想につらなる「民衆」像の原型があるといえる。小説『二百十日』で主人公の圭さんを豆腐屋にしている事を見ても分る。

漱石は国粹主義者でもなく西洋一辺倒でもなく額に汗して働く豆腐屋のような人間の質実剛健な生き方をこの小説の中に書くことによって、「経世済民」の学としての文学を志向していたことが分る。またこの小説を批判した若杉三郎宛の書簡の中で漱石は文学というものは人間の生き方を探究するところに価値が

あるという主旨の事を書いている。漱石の『文学論』を読むと分るが、英文学を選んだ理由として、漢学と同じように人間如何に生きるべきかを扱ったシェークスピアの作品の中に倫理道德を発見したからだとしている。当時の英文学の代表としてのシェークスピアは、作品『ハムレット』『オセロ』『マクベス』のなかで人間の生き方の究極にある「倫理」を文学と一体のものとして考えて書いていたことを忘れてはいけない。最近の文学はこの点で劣るし、日本の教育を見ても教科書の中から漱石や鴎外を除去して「ゆとりある教育」としているが、これは間違っている。本当はもっともっと勉強したい子供達に対して高度なものを与えるべきで、ある面での押しつけ教育は必要であると思われる。

漱石の作品にはシェークスピアの精神が到るところに内蔵されている点で他の現代作家と異なる点を忘れてはならない。

3 透谷と「幻境」(「希望」の故郷)の秋山国三郎

(1) 『三日幻境』のモチーフ

北村透谷は八王子の民権運動に関係した人であるが、明治17年晩秋から18年の春にかけて八王子の川口村に居た秋山国三郎の旅籠にあって、大矢正夫と3人で3ヶ月程寝起きしていたが、それから7年後の明治25年7月にここを訪れて『三日幻境』という作品を書き上げている。この秋山国三郎なる人物は若くして俳諧に名声を博した人であり、また剣の道においても天然理心流を20代において免許皆伝となった達人でもあった。八王子は昔から俳句の盛んな土地であったこともあり秋山国三郎は俳人として活躍したが、また天然理心流土方歳三にも比肩し得る剣豪でもあった。明治維新については一般的に薩長の立場からのみ見て、新撰組の志士を悪人と見る人が多いがこれは正しくないのではないか。土方歳三は自分の節を屈せず、最後は函館の五稜郭において、近藤勇に殉じた実に立派な人物であった。漱石ではないが、明治維新というものを相対的な目で眺めることの大切さを北村透谷も述べている。また透谷は明治維新を「革命に非ず、移動なり」と言っているが、明治維新は革命でなく政権が薩長に移動したにすぎないと見た人であった。

(2) 明治25年の「幻境」再訪

透谷は7年後に再び川口村の秋山国三郎宅を訪れた。「この境部を距ること遠からず、むかし行きたる時には幾度か草鞋の紐をゆひほどきしけるが今は汽笛一声新宿を発して名にしおふ玉川の砧の音も耳には入らで、旅人の行きなやむてふ小仏の峯に近きところより右に折れて(現在の本郷横町)数里の山径もむかしにあらで腕車のかけ声すぎまじく、月のなき桑野原、七年の夢を現にくりかえして幻境に着きたる頃は夜も既に十時と聞きて驚きたり。この幻境の名は川口村字森下、訪ふ人あらば俳号龍子と尋ねて我が老畸人な音れよかし」まさに名文である。この畸人が秋山国三郎であるが、若い時には家をとび出して義太夫語りとなり、江戸の寄席にも出ていたが、中年になり家に帰り家を継いだが、その後も再三再四家を出ていた。この時の様子を透谷は次のように続けている。「再三再四家を出で、豪侠を以て任じ、業を学ばずして頭領株の一人となり、墨つぼを取ってはその道の達人を驚かしめ、風流の遊場に立ちて幾多の佳人を悩殺して今に俄悔の種を残し、云々…」兎に角、この国三郎なる男は腕力も強く20貫の偉丈夫であったようだ。さらに透谷は「わが幻境は彼にあるによりて幻境なりしなり。わが再遊を試みたるも、まことに彼を見んが為なりしなり」と書いている。

秋山国三郎は芸道でも八王子に義太夫の弟子が200人居たと云われている。その最後の弟子が「森萬」という八王子の呉服店のおばあさんであった。また、刀剣の鑑定にもぬきんで居た人物である。国三郎の収入のひとつにこの刀剣の修理再生という仕事があった。古い刀を預りそれを砥ぎ、美しく再生させて持主に戻す時にはお金を貰っていたので経済的に自立していたと言える。

(3) 秋山国三郎の家族たち

秋山国三郎の家族について透谷は『三日幻境』の中で次のように書いている。「車を下り閉せし雨戸を

叩かんとするに、むかしながらの老婆(当時59才の国三郎夫人セキさん)の声はしはぶきと共に耳朶をうちぬ。次いで少婦(当時32才の長女イソさん)の高声を聞きぬ。わが手は戸に触れて訪なふ声と共に、中には早や珍客の来遊におどろける言葉を洩らせるものあり。わが音むかしに変わらぬか、なつかしきものは往日の知音なり。戸は開かれて我は迎へ入れられしが、老崎人(国三郎のこと)の面を見ず、之はと問へば八王子にありという」(これは一つの推論にすぎないが、国三郎は八王子の遊郭に泊っていたのかも知れない。)それにしても国三郎さんの家族の透谷に対する歓待には驚かされる。「埋火をかき起して炉辺再びにぎはしく少婦は我と車夫とのために新飯を炊き、老婆は寝衣のままに我が傍にありて、一枚の洪團扇をあほりつつわが七年の浮沈を問へり」 実に心打たれる文章である。そして透谷は孫娘のトシさんに銀座で買ってきた花簪を土産として渡している。

ここで透谷の雅号の由来に触れると、透谷はスキヤとも読めるように、彼は数寄屋橋に住んでいたことから来ているのである。また透谷はJR有楽町駅に近い所に今でも残っている泰明小学校で学んでいたが、同じ小学校に島崎藤村も在学していたので、この二人の文人の在学を証するための石碑が学校の入口にある。その碑には、「藤村、透谷この地に学ぶ」と記されている。

透谷が川口村を「幻境」と呼び、また「ユートピア」とも言っていた国三郎との再会を果しているが、法政大学の英語のヘリング先生に『三日幻境』のタイトルの英訳を頼んだ時、「ユートピア」とするより「パラダイス」の方が良いと言ってくれた。川口村はまさに「パラダイス」であった。

4 21世紀の「闇」を照らす「灯台」としての透谷と漱石

最後に、小澤先生は次のように話して講話を終えている。

「私は漱石と透谷の二人が、この先21世紀の日本の『闇』の現状を照らしてくれる『灯台』であると思っています。これは決して皆さんに押しつける心算はありませんが本当にそうだと考えているのです。今の世の中本当に暗いですね。皆さんはどう思っていますか？ 私は何時死んでも良いと思っているが、(本当は死にたくないが)私が唯一良かったと思っていることは、漱石と透谷に出会えたことであると言える。この二人の思想は今後百年は生きつづけると思っています。したがって現実の世の中には絶望しているが、心の中には何時も漱石と透谷が灯台の光のようにともっているとりたいのです。これで私のお話をおわりに致します。」

(記録 梅木 松助)

懐かしのフランス映画あれこれ

話し手 平原 俊彦

司 会 米林 伸恭

話をする人：八王子生まれで八王子育ち、日本コムビア(株)入社、洋楽部長・レコード・国際本部長・理事等を歴任、平成5年退社。

はじめに

洋画といえば、華麗、壮大なスペクタクルスを基調としたアメリカ映画を思い浮かべるが、フランス映画には、アメリカ映画と違った独得な味がある。人の世の様々な生き方を写し取る作風が多い様に思う。そんなフランス映画で、日本でも大ヒットしたものの中から、その作品の見所・監督・俳優等にも触れながら、昔を偲んでみたい。

殆んどの戦前フランス名画の日本公開は、1931年(昭和6年)～1949年(昭和24)年であるが、戦後この全てが再封切りされており、我々の世代では、それによって感動を受けたことになる。

名画・ヒット作などを一覧すると、その制作年は、1930年～1939年と、30年代に集中している。その理由は、トーキーが完成したのは20年代後半であること、第二次世界大戦勃発で、1940年フランスはナチに占領されたため、フランス的な映画が作れなくなった。また、30年代は、ルネ・クレール、J・デュヴィヴィエ等々名監督が輩出し、互いに腕を競い合っていたことなど、必然的にフランス映画のよき時代が30年代であった。

製作の翌年には日本で公開されたものが多いが、中には、製作から日本公開までに10年程間のあるものがある。『うたかたの恋』…皇室関係、『大いなる幻影』『霧の波止場』…どちらも捕虜、脱走等と国策に合わない、『北ホテル』『旅路の果て』…内容が非常に暗く、戦時下には相応しくない等の理由に依る。

1 『舞踏会の手帖』(ビデオ)

デュヴィヴィエ監督の傑作・ベネチア映画祭最優秀賞・国映画賞受賞、日本では1938年キネマ旬報洋画部門第1位。オムニバス映画の走り、主題曲「灰色のワルツ」は、モーリス・ジョベールの作曲で、手のこんだ手法で再生したり、名優ばかりを集めた作品である。この映画は結末のおもしろさもさることながら、一編一編の話のおもしろさにある。

2 『望郷』(ビデオ)

『舞踏会の手帖』に続き、39年キネマ旬報で第1位となる。監督は同じくデュヴィヴィエ作品。主演はジャン・ギャバンで、彼の代表作でもある。その演技は、若者を中心に多くの人々に感動を与え、他の多くのギャング映画に与えた影響は多大である。フレールが歌う主題歌「あの人はどこに」は、日本でもヒットした。また、主演女優は大根といわれていたが、この映画を通じて完全な女優に仕立て上げた監督の功績も高く評価される。『舞踏会の手帖』も『望郷』も、男女の若い日の想いにつながるというモチーフは同じである。

3 『うたかたの恋』(ビデオ)

1936年(昭11)の作で、日本初公開は製作より10年後である。主演はC・ボワイエ、D・ダリユーと美男美女の共演だが、映画そのものは名作といえるかどうか、話題になった映画だ。ダリユーは当時19才、この映画でスターとなる。監督は、A・リトヴァクで、ロシア生まれ。仏・米・独・英等で映画作りをし、腕のよいことで有名である。実際にあったオーストリア皇太子の心中物語である。ウィーンのカプチン教会の

地下には、王家の120体余の棺が並べられており、この物語に出てくる。 現世では生活も心情もバラバラであった皇帝・皇后・皇太子の棺が3体特別に並べられている。 死を決意した皇太子が、女性に告げる最終場面でのダリユーの表情が、すばらしいと評判になり、今でもこの場面は話題に上る。

4 『巴里の屋根の下』(ビデオ)

1930年、ルネ・クレールのトーキー第1作で、昔と映像の画期的な作品。 主題歌は日本でも大ヒットした。 映画のすじとしては、たいしたことはないが、いくつかの実験が試みられている。 パリの実景を使わず、セットのみ。 建物の下の階から順に上っていく撮影手法。 場面の背景に汽車を写さずに走行昔のみとする等、最後に西条八十作詞による主題歌がつけ加えられ、その宣伝となっている。 他には見ない試みである。

以上、4編の作品のさわり部分を見ながら、昔を偲んでみた。

(記録 大山 泰)

美術あれこれ裏話

話し手 岩岡 茂之
司 会 古川 純香

美術品に関する基本的知識を中心に、見本品による説明や、関連した挿話、こぼれ話が、系統立てず雑談形式で行なわれた。

【使用された現品見本】

- ①伊東陶山 安南文酒瓶(手付一對) 直筆箱書付
- ②近藤悠三 柘榴絵湯呑(染付) 直筆箱書付
- ③浜田庄司 藍塩釉櫛目茶碗 直筆箱書付
- ④上村松篁 リトグラフ 春苑 バック8色使い
バックきらら(雲母) 使い
- ⑤小倉遊亀 リトグラフ 桃と鉢 バックプラチナ箔使い
- ⑥星 襄一 リトグラフ 月
緑の木

1 価値判断について

- ①作品価値、商品価値、保存価値、伝来価値の4項目を勘案して判断を下す。
- ②古美術品と骨董品、鑑定と鑑別の区分基準について。

2 絵画、彫塑、工芸品の歴史的経緯(美術品と民芸品の区分)について

3 伝来に関する外国からの由来話

陸上ルートと海上ルートによるエンジェルの例、日本より外国に影響を与えた浮世絵の例。

4 縁起に基づく目出度い図柄について

松竹梅、鶴亀、網目、青海波、白鷺、中国での桃、欧州での兎の足等。

5 気象風土の影響による、増田誠(在仏作家)の日本に於ける制作時の、油絵具の発色

仏と日本での差違について。

6 陶磁器の焼成時に於ける風土との関係について

7 絵画、陶器など作品のすべてが生きて呼吸しており、常に変化している点について

特に陶器の志野、萩、粉引、漆器の春慶塗などに傾向が著しい。

8 陶磁器関連について

- ①清水焼の元祖といわれている、栗田焼について(見本1使用)
- ②染付磁器作家、近藤悠三(人間国宝)の作風と窯出し時の挿話について(見本2使用)
- ③益子焼、浜田庄司(人間国宝)の制作態度について(見本3使用)
- ④昭和天皇即位時に於ける清水家との関連について
- ⑤陶器の普及品としての「窯もの」の存在について
- ⑥湯呑茶碗の使い勝手(汲み出し、筒湯呑、湯呑、蓋番茶)について

9 絵画関連について

- ①上村松篁、淳、父子、の鳥に関するこだわりと、観察の実態について
(例、鶴の生態と松の木の関連に於ける真実と真偽)

- ②東山魁夷の、画室に設置されたステレオ装置について
- ③杉山寧の、昼夜逆転の生活ぶりについて
- ④奥村土牛への、制作依頼の困難さについて
- ⑤東郷青児の京都三条朝日ビル壁画制作時に、四條の宿舎より双眼鏡を用い、直通電話で指示を送った挿話について
- ⑥上村松篁リトグラフ制作時のこだわりについて
(バックの色使い、きらら使用等) (見本4)使用
- ⑦小倉遊亀リトグラフ制作時のこだわりについて
(バックにプラチナ箔を使用した経緯) (見本5)使用
- ⑧星裏一リトグラフの、キッシンジャーを通じての、ホワイト・ハウスとの関連、有吉佐和子「紀の川」の製本時の関連、制作時にガスバーナーを使用していた事等について(見本6)使用
- ⑨作家個々への対応に関する挿話と、謝礼に於ける仕組みについて
- 10 太平洋戦争後、荒廃した京都三十三間堂の外壁を、自費で復旧した五島慶太の挿話について
- 11 井伏鱒二著作『珍品堂主人』のモデルになった一美術商の、創業時よりの商習慣に関連した挿話について

(記録 岩岡 茂之)

自分史 その創始者橋本義夫

話し手 大野 聖二

司 会 小原 康直

話をする人：八王子生まれ。 青年時代から研究心に富み、郵便局長を務める。 傍ら青少年育成をはじめ市内各種ボランティア団体などを数多く創設。 橋本義夫の理想をみずから実践している。

1 橋本義夫との出会い(昭和19年春)

八王子生まれの橋本は、市内横山町で揺籃社という書店を営んでいたが、既に日本の敗戦を予言し、戦後に備えて勉強すること、伝記を読むことを勧めた。

2 戦前の橋本義夫の歩み

トルストイ、武者小路実篤、有島武郎などに共鳴するが、1924年頃より、キリスト教人道主義と社会主義に接し、賀川豊彦、内村鑑三に傾倒する。 また、多くの青年と交流して、《教育の家》運動をはじめさまざまな運動に加わって幅広く活動をする。

3 地方史運動を開始

郷里川口地区の青年の要請を受けて、昭和23年、地方文化研究会をスタートさせた。 また、埋もれた歴史の発掘と人士の顕彰を行った。(川口に滞在しこの地を「三日幻境」と表した北村透谷、八王子地域で最初のキリスト教会を建てた山上草樹らの顕彰など)

さらに昭和35年には「古代中世地方史研究法稿」を執筆した。

4 建碑運動

昭和24年(1949年)頃より、①埋もれた功労者の顕彰、②歴史を活かす地域名所の創設、③地方史及び地域文化の発掘、という趣旨から運動を起こし、苦勞をしながら十数基の碑を建てるため努力し完成させた。(多摩の横山にちなむ「万葉歌碑」や、鍮水商人と蚕業史跡である「絹の道碑」など)

5 天才育成

昭和30年代に、日本の復興は科学技術者を育成する事にかかっていると、天才育成の方法論を力説した。

6 平凡人への目覚めと「みんなの文章」運動

万民が大いにしゃべり大いに書くときがきたと主張する。「下手に書きなさい」「正直に書きなさい」「失敗話を書きなさい」という三原則をモットーに「平凡人の文章運動」を提唱した。

7 「ふだんぎ」発足

20人ほどから作文が集まり、ガリ版刷りの文集「ふだんぎ」第1号が昭和43年1月に発行された。 ハガキで感想を送り合い、批判より褒めることを勧めたので、これがお互いの励みとなり、号を追うごとに文友が増加した。

この運動に歴史学者の色川大吉が着目し中央公論に紹介したが、これが自分史運動のさきがけとなった。「ふだんぎ」運動は全国に広がり、全国各地に現在25支部ができています。 地域の人づくりと地域文化に貢献し、市民主導によるまちづくり運動の先駆者と云える。

話し手は図版も示しながら詳しい説明をしたが、揺籃社について、碑のこと、北村透谷の思いなどの話題も出て、賑やかに懇談がおこなわれた。 なお、近く実施される「橋本義夫生誕100年を記念する会」主催の講演会の紹介があった。

(記録 浅輪 豊治)

前田軍の攻撃と八王子城合戦悲話

話し手 野口 正久

司 会 広瀬 智子

話をする人：地方史研究家、八王子千人同心旧交會會長、元八王子市文化財審議會委員、郷土資料館運営協議會會長、元八王子中、二中、七中各校長歴任

今、NHK 大河ドラマで「前田利家とまつ」を放映しているが、前田利家と八王子城合戦についてとりあげてみたい。

1 天正 18 年(1590)に落城した八王子城について

①八王子城

北条氏照によって旧元八王子村につくられた城である。小田原に本拠をおいた北条氏は鎌倉幕府の執権であった北条氏に対して、後北条氏と呼ばれ、開祖は伊勢新九郎と名乗り、後に北条早雲といわれた人である。その後、二代氏綱、三代氏康、四代氏政、五代氏直と 100 年の間、関東八州に覇を唱えるようになった。

北条氏は、小田原に居を構えていたが、北関東を治めるために、八王子を最重要地とし、ここに築城したが、その年代は明らかではない。激動の時代には、貴重な資料が残されていないのが歴史の常である。

その起源には、元龜 3 年説(1572)中山家記録、永禄 3 年説(1560)立川文書、永禄 5 年説(1562)宗関寺牛頭弘宗伝一氏照章、天正 3 年説(1575)、天正 6 年説(1578)等がある。現在、天正 3～6 年説が有力である。

氏照は、はじめ由井沢三といていたが大石定久の婿養子として滝山城に入り、その後、居城を八王子城に移し、甲斐の武田勢に備えたといわれている。

②八王子城の構造

落城から 58 年後の慶安元年(1648)7 月 7 日に作成された「一見之武州八王寺古城」の小図がある。本丸、○御主殿、○大手門、搦手門、詰城、○古道、曲輪など非常に正確に描かれている。(○は発掘調査済)

根古屋という家臣団の屋敷跡地区の発掘(昭和 52 年)や御主殿の発掘調査(昭和 61～平成 3 年)の結果、解ったことは合戦で火災があったことや鉄砲の使用(土弾・鉄弾)などの他、北条氏の生活と文化を物語る、中国製の青磁器等をはじめ、瀬戸・美濃等の国内産陶器、各種の鉄・銅製品、茶臼、漆器など 7 万点をこす遺物が出土した。特に、ベネチヤ産のレースガラス出土は特筆される。

2 八王子城合戦

①八王子城合戦の前哨戦

豊臣秀吉は、天正 18 年 2 月大阪を立ち、天下統一の最後の目的地となった関東・奥羽の平定に乗り出すが、北条氏の本拠である小田原城を直接攻めることは難しいという判断から、関東北部の北条氏支城の攻略に前田、上杉の北越軍をあてることとした。北条氏の系図を見ると、氏康の子、氏政が小田原城、次男の氏照が八王子城、以下氏邦が鉢形城、氏規が菰山城、氏恵が佐野城、氏堯が戸倉城というふうに関東一円にその勢力を伸ばしていたことがわかる。加賀の前田利家と越後の上杉景勝は、秀吉の命を受け小田原城攻撃の前哨戦となる八王子城攻めに向けて、北条氏の支城を次々と攻め落としていった。(桑都日記続に秀吉の傲や川口、犬目方面、横川月夜峰付近からの前田・上杉進軍の図が描かれている。)

②八王子城合戦

天正 18 年(1590)6 月 23 日午前 2 時頃、朝もやをついて、八王子城攻撃が開始され、午後 4 時頃落城した。(合戦の様子は、「多摩御陵の周囲」逸見敏刀著等によって著わされているので参照されたい。) 八王子城

攻撃、秀吉の「決戦をして攻め落とし、武威を示せ」という傲により、激しい攻撃が行われた。守る八王子城側では、横地監物、中山勘解由、狩野一庵ら数千人の武士、農民、神官、僧侶等がはげしく抵抗し、さまざまの戦の中で多くの戦死者を出した。その時、西蓮寺薬師堂の天井が焼け、広園寺が全焼し、犬目、川口村村落も焼失したといわれた。北条軍の戦死者は、大善寺、相即寺で供養され、過去帳が残された。

3 八王子と前田家

前田利家は、秀吉と同様、貧しい家庭の生まれから出世した武士であるが、妻の「まつ」の陰の力は大きかったようである。利家家は、信長、秀吉、家康の三代に仕え、功をあせらず着実に戦功をあげたため、加賀100万石の大名となったが、八王子城の合戦では、中山勘解由、狩野一庵の奮戦ぶりに感嘆し、降伏させて生命を助けようとして部下に命ずるなど温情味のある人物でもある。一方、落城後の八王子の建設にも力を入れ、利家の家臣・長九郎右衛門に命じ、城下三宿の移転等について、北条の家臣であった長田作左衛門には、天正18年7月18日付の「利家黒印」の墨付と称する命令書があり、このことが八王子の発展に大きく貢献したといわれている。これについては異論があるが、長九郎右衛門の事績は、今後研究の余地があろう。その後、徳川家康の関東入国(天正18年)以後、大久保長安が関八州治定四代官頭の一人として八王子に来て、代官所を小門に設置し、建設等に当たったものである。

4 落城悲話

八王子城の合戦の激しさから、落城後、地域や北条家とその縁者にとって数々の悲話が残されている。「赤飯炊き」「山中に残る霊魂」「嫁取異風俗」などである。

Q:八王子を含む多摩地区は、何故神奈川県から東京都に移管したのか?

A:明治26年に東京府に移管した理由は、多摩川の水源地を東京府が確保するためといわれている。一説には、盛んな自由民権運動を神奈川県と東京府に二分するためともいわれている。移管することで、税金が高くなるということで反対もあった。

(記録 小山 祐三)

医師と上手につきあう方法

話し手 長町 幸雄

司 会 西志村 光治

話をする人：群馬大学医学部名誉教授、医学博士、元群馬大学医学部付属病院長、東京医大がん研究事業団理事、日本消化器病学会理事、本年度プロバスクラブ会長。

1 生命倫理と医療行為 ～臨床医学の姿を探って

① 医療はあくまでも一個の生命とその人の持つ病気が目的であって、決して民衆や社会のための犠牲にしてはならない。近年科学が進歩して公害問題などが発生したため、医学部を出ていながら社会医学を経済学部で教える人が出てきている。個人に対するよりも人間性とか社会に対する意義の方を尊重する傾向が見られが、社会的背景の変動のために医学がその目的や真理をねじまげられるようなことがあってはならないと信じている。

② 医学は他の科学と異なり人での実験ができない。しかし、このことが全くなかったら今日の医学は？
医学の中でも臨床医学では実験というものはあってはならない。臨床医学は個人を対象とするものだから個人を犠牲にすることができないのである。しかし過去には暗中模索時代があった。20世紀初頭欧米の脳外科手術での死亡率は85%であったし、我が国での食道がん手術でも50%は不成功であった。しかし実験的ともみられる先駆者達の医療行為が今日への掛橋であった意義は大きい。

2 なぜ、大病院で医療過誤が頻発するのか？

① 医療事故の際の被事故者の種類と原因

医療事故の被事故者には医療従事者と患者がある。ここでは主として患者の場合に的を絞るが、事故の原因には、複数の主治医と患者の関係がまずいこと（責任の所在不明）、教育・研究機関であることの矛盾点や、大学病院でのベテラン不足、手術者と受持医の不一致などが考えられる。大学の教授や助教授は病棟での患者受持医にはならない。教育機関であるが故に研修医は手術をやりたがるし、実際には教授や助教授が直接手術をするかどうかは分からない。したがって入院時に誰が手術をやってくれるのか聞くことが必要であること。外来で見てくれる医師は立派な医師かどうか分からないことも知るべきだ。

② 医療事故対策の諸問題

医療事故はほとんど人災であること。人は誰でも勘違いを犯すものでハイテク化が進んでも事故は起る。点滴で管を間違えたり、機械が倒れたりしたらもう駄目だ。麻酔で酸素と二酸化炭素を間違えれば、あっという間におしまいになる。

③ 患者が事故から身を守るにはどうするか

次のようなことを心掛けることが大切。医師・看護婦に自分を強く印象づけること。インフォームド・コンセントは正しく受けること。病名や診断を聞いたならその根拠をしつこく聞くこと。少しうるさい人と思われるくらいで良い。使用薬剤をたずねること、薬局でその薬効をよく聞くこと。処置の内容とその処置の必要性の理由をよく聞くこと。手術者の確認をすること。婦長さんに責任をもって手術してくれる人の名をきくこと。自分の病歴を詳しく書いたものを持参して医師との対話の時に見せること。医師の前で弱々しい態度を見せないこと。不必要な投薬は受けないこと（日本では薬が多過ぎる）。手洗いうがいはいわれなくても実行すること。（医師が常に手を入念に洗っているように）。手で鼻のあたりをやたら触らないこと。手を不潔なところに持っていかないこと。受診時には質問事項を予めきめていくこと。

要するに自分の身は自分で守ることが大事で、先方に自分を丸投げしないことなどが大切である。

④ ミス招く、医師の希薄な気配りが問題

1999年の横浜市立大学医学部附属病院の患者とり違え事件（肺の患者と心臓の患者をとり違えて手術した）は、医師と患者の希薄な関係を象徴している事件であった。 また読売新聞のコラム欄には、外来患者の氏名確認を怠ったために別人が先に診察を受けて帰ってしまい、40度の高熱で待合室に待たされた16才の娘と付き添っていた母親の話が載っていたが、これも医療における本人かどうかの確認の大切さを示している。 教訓として自分の名前を呼ばれたら医師にも本人であることの確認をして貰うこと、病院任せは危険だということである。

3 医師と患者の関係 ～昔と今の相違点は何か

① 医療の歴史的変遷からみたその背景の相違は？

昔は医者が少ないから、万一事故が起っても、その医者を選んだ患者の責任とされてしまった。 裁判になっても昔は医師の方を100%かばってしまっていたが、これからは医者も罰せられるので、泣き寝入りはしない方がよい。

② 医師と患者の関係 ～昔と今の相違は？

昔は医師と患者を結ぶ関係は信頼関係にあったと言える。 今こそ昔の関係をとり戻すべきである。 これからは医師と患者との関係は対等であることから患者中心の医療をすべきである。

今までの病院の特徴を反省してみると、全国どこの病院も同じ形態を持っていること（クローン現象）、病室が狭い（寿司詰め電車）、軽病と重病者が同室に置かれている（よせ鍋）、待ち時間が長くて混雑している（朝市）、高額な医療機械が並んでいる（ハイテク消費）、診療科が多く並んでいる（デパート）、建て替えの必要病院が多い（使い捨て）、3 K、汚い、恐い、混むの3点が揃っている。 研修医と医師の混在、専門医の表示が欠けている。 これからは患者中心の医療の立場から専門医の名前を表示すべきである。

4 患者の医師評価 ～目の付け所とその根拠

① 患者は何故医師を替え、医師のどこを評価するのか？

自分の病気がたいしたことのない時は行き慣れた医師のところへ行くが、大病の時は家族・友人・知人などに聞いて腕の良い、人柄の良い医師を選んでいる。 これは従来も同じである。 ただ難病や障害児の時は数回医者を転々と替え、自分に対してあまりくわしく説明してくれない時は他に行くようにしていた。 患者が医者の何処を見て評価しているのかというと、第一は腕が良いかどうか、知識・技術が確かであるかどうかを見る。 次に患者の話をよく聞いてくれる医者かどうか、また自分のことをよく憶えてくれていて納得ゆくまで説明してくれるかどうかで評価される。 限られた時間で多くの人を診るので納得ゆく説明が出来ない場合があるので、患者もこれからは知識を持ってよく聞くこと、そして論理的説明を求めるべきである。

② 良い医師とめぐり合うにはどうするか？

7要素を提唱する或る医師の意見を参考にして8つの心掛けを挙げる。

- ・早く、痛くなく、安上がりに治療できる良い医療技術を持っている医者を選ぶこと。
- ・自分の医療技術の限界を知っている意志は良い医師。 名医と良医とは違うものであるが、ただ現代医学についてゆけない医師は困る。 自分で何でも出来るスーパーマンだと言っている医者は駄目であること。
- ・患者に本当の話ができる。 私には分からないので、こういう先生がいるから行ってごらんとと言える人は良医。
- ・冷く告知せず、心の温かみを持って伝える。 末期の患者に対して特に気をつけてくれる医者が良い。
- ・病気が治らぬ時でも放り出さず、退院後も患者を見放さないで紹介状を必ず書いてくれる医者。
- ・病気の告知で、患者の心が落ち込んだ時、人間全体を視野に入れた精神的なサポートができる医者。

- ・患者の家族や地域のことも配慮してくれた昔の開業医達は満点であった。 人間的関係ができていたから。
- ・専門医制度の効用。 専門医取得者は看板を掲げられるようにすべきである。 インターネットで分かるようになりつつある。

5 医師が患者の信頼を得るために何をすべきか？

- ① 医師は身だしなみが大切であること。 きちんとネクタイをすること。 だらしない医者は事故を起し易い。
- ② 医師である前にまず常識ある紳士、淑女であることも大切である。
- ③ 医学教育で患者に対する接遇の仕方を教えるべきであること。 文部科学省は医学部のカリキュラムを見直すべきだ。 欧米のように4年制大学を出てから医学部に入学する方が良い。 今の日本では18才の医学生がお産の講義を聴いているが、赤ん坊を抱いたこともない人に小児科の医者になれというのは無理なことだ。
- ④ 患者を数値でなく質で捉える習慣を身につけること。

臨床研究では治療効果や予後などを数値で割り出すことを主眼に置いているがクリニカル・エビデンス、臨床の成功例、失敗例を体験させ、その上で医療行為をやった方が良い。 感冒に対する抗生剤処方を例にとってみると、抗生剤を有効とするエビデンスは弱いにも拘わらず、患者は医者はその処方を求める傾向がある。 純粋科学と人間の行動との隙間を埋めるための研究が質的にとり上げられつつある。 患者は必要がないのに風邪の時に抗生剤を欲しがると、医者も患者との良い関係を保つために抗生剤を出す人が多い。 医師も患者もこれにより心理的に安心して、早く良くなったと錯覚するのだと思われる。 抗生剤は肺炎の時には必要だが、風邪の時はいらない。 日本は薬の無駄使い国である。

結論として名医とは患者さんの状況を客観的に捉えてエビデンス(事象)だけではなく、これを用いて上手に患者とのコミュニケーションがとれる医師のことを指す。

6 患者の権利宣言とは

1972年にアメリカ病院協会は『患者の権利宣言』というものを出している。 日本でもこの考えを踏襲しているので、医者から理不尽なことを言われたら、これを持ち出すと良い。

(当日会場で配布されたプリントに記載)

7 家庭医と専門医の選り分け方

良い家庭医・専門医とは納得のゆく説明をしてくれて経過を大事に看てくれる医師を指すので、正確な告知が出来る医師、患者が自己決定できるよう十分な説明を受けられる医師を選ぶこと。 患者は主人公であることを忘れぬことが肝要。

受診者側から見た時、患者不在の医療機関は駄目であること、待たされない医療も患者の権利であること、密室医療はいけない、資料を公開してくれる医療であるべきだ。 また医療における顧客を満足させてくれる条件は、待たない、待たせない、分かり易いの3つである。

患者には知らしむべからず、よらしむべしという昔の医療形態は患者に不安を与えてきた。 これからは患者が医者を自分のペースに乗せるよう心掛ける事。 上から見おろす医者は駄目。 おこられそうな医者も失格。 気おくれしないで話せる医者であることが望ましい。 また患者を人間として対応してくれて、個別性を考えてくれる医師が良い。 同じ病気でも太っている人とやせている人では違うことを知っている医者でないと駄目。

8 専門病院の望ましい診療形態は？

誰に診察して貰えるのか分からない病院は駄目。 診療所では家族のような関係で診てくれて、必要に応じて専門医の紹介が得られ、紹介された専門病院での診察と治療後、もとの診療所に戻ってこられることが大切。 入院中も患者をよく見てくれて、万が一亡くなった時は、告別式に来ていろいろ説明してくれる医者が理想で

ある。

家庭医とは永くつきあえ、近くにいてすぐ連絡がとれ、紹介状を何時でも書いてくれる新しいタイプの専門医とすることができる。

Q 1 : 良い医療技術を持っている医者を知る方法。 また医療事故は昔もあったのではないかと？ 医師の免許取得に定員制を設けたらどうか？

A 1 : 従来も医療過誤はあったが、昔は泣き寝入りしていた。 これは専門の弁護士がいなかったためである。最近文部科学省は弁護士を助ける医者を裁判の時に派遣することを提案している。 これは必要である。医師の免許制限についてはいろいろ問題がある。 法曹界では研修制度があり給料が出ているが、医師の場合は無給である。 2年間の研修を大学の医局でやっている人はモルモットの世話をさせられて医療行為をしていない。 これでは駄目なので本当は病院でやるべきなのである。 指導医がいる病院で研修すべきである。 2年後には臨床医の研修は大学ではなく他の場所でやるのが義務づけられるので今より良くなる。

医師の免許取得の問題については昔90%以上合格だったが今は80%位しか合格していない。 医師の数は減りつつある。 試験内容については問題にすべきではなく、レベルの高い指導をしてくれる病院が必要である。

Q 2 : 良い病院を選ぶ基準だが、いろいろな病気を持っている時は総合病院の方に行きたい。 しかし紹介状がないと、軽く流されそうで、心配なのだが？

A 2 : 最初から総合病院に行くよりも開業医にベテランが多いので、その医者に診て貰ってから何処の病院に行けば良いか、ふり分けて貰う方が良い。 大体において紹介状持参の患者が30%以上居ない病院は落第である。 八王子の病院では17%位。 群馬大では50%以上にした。 もう少し住所の近くにある先祖代々の開業医を信頼した方が良い。 往診してくれる関係を持っていることが大切である。

Q 3 : 日本が長寿国になった原因について教えてほしい。

A 3 : 環境である。 衛生知識が普及して社会がきれいになったことと、小児の時に死ななくなったことである。 日本は社会医療の施策が進歩したためと思う。 あと食生活の改善にもよる。 今は4人の若者が1人の老人を担っているのだ、おみこしと言われるが、もう少し経つと3人で1人の老人を担うので騎馬戦である。 さらにもう少し経つと2人で担うからかごかきになる。 今の年寄はこれから若い人に頼り過ぎないようにして貰いたい。 老人よ若人たれと言いたい。

Q 4 : 救急車を呼んだ時何処の病院に運んで貰うか指定することが出来るかどうか？ 一度狭心症に罹って診て貰った病院を指定して良いか？

A 4 : それは出来る。 指定して良い。 大学病院でなくても、大病院では10年間カルテが保存されているので、疾患歴が明瞭である。 はっきりと病院名を言った方がよい。

Q 5 : セカンド・オピニオンについてお聞きしたい？

A 5 : どんな名医でもすぐれた医療機関でも、そこだけですべて正しく診断・治療が行われるとは限らない。 最近の医療機関はセカンド・オピニオンを拒むことはしなくなっている。 一ヶ所で満足しない方がよい。 自分で納得できない時は自分の意志で別の医者をたずねて下さい。

Q 6 : セカンド・オピニオンで、前に診て貰った医者がいるかと聞かれたら、嘘をついてもいいか？

A 6 : すぐに見抜かれてしまうから駄目。 相手の医者は真面目に診ているのだから正直に言わなければならない。

(記録 梅木 松助)

仲間や家族で楽しめるレクリエーション

話し手 塩沢 迪夫

司 会 川津 鐵禮

話をする人：茨城県出身。企業の役員・管理職を務める傍ら、早くからレクリエーションの指導普及に携わる。現在、八王子市レクリエーション協会専務理事。八王子市子ども会連合会会長。

1 誰でも年齢に関係なく楽しめるレクリエーション

これまで「レクリエーション」といえば、一般に仕事の疲れをいやすとか、日常生活から離れて気晴らしのために、スポーツ、ゲーム、野外活動、ソング、ダンス、グループ活動をするなど、「余暇を利用した遊び」と考えられてきた。しかし、今やレクリエーションは、特定の人々だけのものではなく、幼児から高齢者まで、また健常者も障害を持った人も、等しく人間が人間らしく生きていくため、日常の衣食住に加えて、広く心のゆとりや楽しみを得る大切な手段と位置づけられる時代となっている。

私は、ある少年の更生施設で週1回のレクリエーション指導の講座を持っている。これは、この少年たちにもレクリエーションの楽しさを教えて、更正の一助にしたいとの法務省の方針に基づくものであり、種々の制約の中で、少年たちが明るく楽しめるように工夫している。カリキュラムが終わると少年たちに感想文を書かせることとしているが、その中に決まって「毎週1回のふれ合いが本当に楽しかった。指導者のような人が自分の親であつたら、あるいは身内にこのような人がいたら、自分は今の世界には入らなかった」という趣旨の述懐がみられる。ここに、隠さざる人間の本性が出ていると思う。

今、未曾有の高齢化時代を迎えつつあるが、一般に男性は、仕事一途で貫いてきた人ほどリタイアするとやることがなく、そのまま「ぬれ落葉」になってしまいがちである。職場で高い地位にあった人が、退職後は普通の爺さんになったのに、昔の衣を着たままでは誰も相手にしてくれない。老人会などのレクリエーションの場でも、最初は「おれはえらい。こんなつまらないことをやられていか」といった顔付きで壁に張りついたままの人が多し。音楽を流しても乗ってこない。しかし、知らず知らずに足や体でリズムをとっている。輪の中に入りたい気持ちにあるのに、なかなか心を開かないのである。そうこうしているうちに、何かのきっかけで一旦レクリエーションの楽しさを味わうと、次第にその魅力にはまってしまうようになる。やがて地域の人々と深い交わりができ、その中でリーダーシップをとって地域社会に貢献していくこともできることとなる。

また孫たちとのふれ合いの場でも、「おじいちゃん、おばあちゃんがこんな楽しいことを教えてくれたよ」といった喜びを見出していくことにもつながっていく。

つまり、幼児教育から老人施設、障害者や青少年団体へと活動・交流の場は無限に広がっていくのである。

たとえばバス旅行の際でも、ガイドの案内だけに頼るのではなくて、カラオケ、マジックなどのほか、車中で全員が楽しめるゲームを工夫して実行すれば、旅行は一段と楽しいものとなり、懇親の目的も十二分に達成できることとなる。

2 どうすればできるか ー楽しい雰囲気づくり

まず、ゲームをやる仲間を集めること。「どうしよう」「こんなふうにしようかな」といろいろなアイデアを出す人が多いほどよい。仲間としては、大人だけでなく、たくさん子どもたちがいる。歌の上手な子、大きな声を出せる子、ものを作るのが上手な子、足の早い子…とにかくいろいろな個性の子がおり、それに何よりも子どもは素直で覚えが早い。ただ、ゲームとなると、意外に知らない人が多く、ここに指導者の出番がある。

人と人との交流、つまりコミュニケーションの原点は、①共にふれ合こと(ゲーム)、②共に声を出すこと(ソング)、③共にリズムに乗って躍動すること(ダンス)、の3点である。

ゲーム進行の流れとしては、次の4段階があり、それぞれの段階に応じた種目が数多く考え出されている。

A：導入段階…全員一緒に手や足を動かし、笑いを誘いながら、メンバーの不安、緊張をほぐす。種目は簡単なものから、隊列は輪になるように、互いに全員の顔が見えるように。

B：交流段階…メンバー同士が交流し合えるように、指導者は最初の導入のみを示し、なるべくメンバーの自主的な進行に委ねる。声を出させ、スキンシップも。

C：集団向自己表現段階…メンバー同士が助け合うグループ対抗など。

D：グループ課題設定段階…グループで一致した動き、グループの目標を設定するなど。

実際のゲーム指導に当たっては、安全、服装、言葉づかいなどに配慮するほか、楽しくスムーズに進めるための数々のノウハウがある。専門的な指導者を養成するコースも段階に応じて設けられており、どのコースも若い人から年配者まで多くの受講者で賑わっている。

受講者に配られたレジュメには、43種目にわたるゲームが紹介され、そのうち「ケーキと皿」「ジャンケン列車」「お花畑」「動物の名あて」など10種目ほど話し手の指導で実行し、受講者一同、文字どおり年齢を忘れて楽しいひとときを過ごした。

(記録 佐々木 研吾)

中国を視る(覗く、垣間見る)

話し手 渋谷 文雄

司 会 石井 充

話をする人：日野市在住。 戦前、旧満州国(現在の中国東北地方)に留学。 在学中に敗戦。 八路軍(後の民主聯軍、人民解放軍)に抑留され、八路軍兵士として各地を転戦し苦難の青春時代を過ごす。 昭和28年秋帰国。 経営者団体を経て、上場企業の代表取締役就任、会長を歴任。 長い大陸での体験で培ちかわれた、小事に拘わらぬ性格。 ライフワークは中国現代史の研究。

時間的制約もあるので、「中国を覗く、垣間見る」というタイトルにしたということであるが、1から10に及ぶ項目をレジュメに示し、中国の歴史、さらに現状について興味深いエピソードを交えながら、今後の日中関係のあり方までを含めて熱弁をふるった。 レジュメに従って、その内容を簡約して紹介する。

1 プロローグ

中国には「南船北馬」という言葉があるが、これは南と北の文化が全く違うということを使ったものである。元、明、清と続く歴史、万里の長城が南の農耕民族国家を北の騎馬民族の襲撃から護るために造られたものであること、更に辛亥革命後の諸軍閥の争いをみても、南と北の闘争の歴史ということができる。

ここで満州事変に関わるエピソードを一つ、1931年9月に満州事変が起こったが、同年10月、蒋介石は、許世英という密使を派遣し、日本が、もし中国本土18省を侵略しないということを約束するなら、東北地区を日本に譲ることに合意する、という提案をしていた。これを日本は一蹴してしまったが、残念なことだった。

また、張学良が蒋介石を捕らえた西安事件と、その事件後の張学良処遇の内幕について興味深い話があった。張学良が100才の長寿で、昨秋ハワイで亡くなったことをご記憶の方も多いと思う。

2 敗戦前後

1945年8月9日、ソ連軍は、日ソ不可侵条約を無視して満州に侵攻したが、このときの関東軍上層部の対応は卑劣なものであった。将軍クラスは、飛行機で家族ともども内地に逃げ帰り、佐官クラスは、列車で家族とともに逃亡した。

一方、ソ連軍は、満州国の工業施設内の機械という機械を根こそぎ強奪し、鉄道の線路までも外しながら持ち去ったのである。また、侵攻軍は囚人部隊であったため在留邦人に対する暴虐は強奪、強姦、目を掩わしめるものがあった。

満洲における一般中国人は、日本の敗戦後、蒋介石の国民党軍を歓迎していたものと思われるが、その軍律は悪く、略奪、強姦を常とし、たちまち、その信を失ってしまった。これに反し、八路軍の軍規は厳正で、その規律の厳しさは驚くべきものがあり、民衆の信頼を得ることとなった。

3 新民主主義革命

1949年に中華人民共和国が成立したことをラジオで聞いたが、禁欲的な人達が新国家を造ったということで感動した。当時は、同じ中国人でも蒋介石軍と比べてかくも違うものかと思っていた。

共和国は八つの政党で連合政府を造ったわけであるが、百花斉放で収拾がつかなくなり、4か月で一党独裁、反右派闘争で56万人の知識人が追放されることになった。

4 中ソ離反

ソ連において、フルシチョフのスターリン批判が始まると、中ソの離反がめだち、中国はより左傾化を強めることになった。

5 文化大革命

1966年4月に文化大革命がおき、紅衛兵が猛威を振るったが、1976年9月に毛沢東が死亡し、10月には、いわ

ゆる4人組が逮捕され、文化大革命の終りとともに革命第一世代の終焉をみた。

6 社会主義市場経済？ 改革解放

鄧小平が実権を握ると、先ず豊かになることが必要と先富論が唱えられ、経済特区が設けられて一部地域の繁栄をもたらしたが、地域格差、貧富の差の増大等、社会不安要素も増大し、天安門事件に表徴される民主化運動が活発化した。

7 中国投資の動向

市場経済への移行に伴って外国企業の中国進出が盛んとなり、日本企業772社が進出しているが、中国社会の実情は汚職が常態であり、とても法治国家といえる状態ではない。

8 江沢民時代の終焉、新世代の誕生(第四世代)

中国の政治情勢は、間もなく江沢民時代が終り第四世代といわれる胡錦濤、温家宝らの時代が始まる。

9 日本の課題(負の遺産の整理)

戦争体験のない日本人が殆んどとなった現在、後世に負の遺産を残してはならないということを強調したい。中国に対し、言うべきことは言い、事あるごとに歴史カードを使わせるという愚から脱却しなければならない。

10 エピローグ

経験から言うと、中国人の多くは自己中心的で、損か得かが行動基準と思われ、絶対に責任を負くことをしないし、御都合主義である。 こういう中国人に対し、日本人は甘いと思う。 その対応について真剣に検討が必要と思われる。

(記録 成田 章)

上杉鷹山・その人柄と生涯

話し手 吉田 信夫

司 会 浜野 幸雄

1 米沢藩のあらまし

1595年越後から会津120万石の領地に移った上杉藩は、関ヶ原の戦いで西軍の石田三成方はついたため、1601年家康により米沢30万石に移封された。その折、約5000の士族はそのまま米沢に移住、藩の財政は成り立たず、家臣の知行は1/3に減らされた。

1664年、後継ぎの問題で、藩の石高は15万に減らされた。家臣の知行も更に1/2に減った。この頃は軍用金が約6万両あったが、財政が苦しくなると共になくなり、1750年家臣から知行半分の借上が始まり、これが73年間続き、家臣の窮乏が一層甚しくなった。

1753年幕府から東叡山修理、仁王門の再建に9万8千両の出費が命じられ、又、宝暦年間に大凶作が数年続き、藩の財政は破綻した。藩は領地返上を幕府に打診したが慰留されている。

2 明和・安永の改革（1765～1779）

1767年竹俣当綱が17才の治憲(後の鷹山)を藩主にし、社中の人々を中心に改革が始まり、主な施策は大儉約令、豪商との関係修復による財源の確保、桑、漆等の植立、縮織の導入など殖産興業をすすめたが失敗、天明年間の凶作もあり、財政は一層悪化し、改革は中断された。

1785年、鷹山35才改革の途中で家督を治広に譲り隠居した。その理由として幕府から普請手伝いが、一日に命ぜられるのは必至、新しい普請役がくるのを避けるため、元気なうち治広を藩主に育てるため、養父重定の健在なうち、治広に譲るという義理心、自身と幹部家臣団の政治力が落ち、体制を一新するため等々より決心した。

3 寛政の改革

鷹山が再び政治の表に立ち、^{のぞきど}苳戸善政を起用し、寛政の改革を始める前に、全藩士の意見を集め「再建16ヶ年の計画」を立てた。収入を1/2とし藩財政を組み、経費を減らした。豪商との関係を修復し、財源を確保した上で、生糸、絹織物を中心とした産業を発展させ、33年かけて改革を成功に導いた。

4 上杉鷹山の人柄と人生

鷹山は1751年高鍋藩秋月種美の次男として生まれ、名を松三郎といった。10才にて上杉家に養子入籍した。少年の時期、藁科松柏と細井平州のもと厳しい教育を受け、1767年17才で米沢藩主となり、名を治憲と改め家督を継いだ時二つの誓詞を神社に奉納し、藩主としての誓いをした。

明和・安永の改革に係わり、儉約令、殖産、振興、農村の復興、藩校興譲館の再興など多方面に努力されたが、農産物の青苧は綿に押され、又、幕府の賦役要求が過大の上、干ばつ凶作が多発し、藩の財政は苦しくなった。しかし、その間7500両の準備金を7年間積立てたり、従来の消極的な譜代重臣に代わって、有能な人材が登用されるようになった。

5 七家騒動

1773年譜代の重臣7人が改革に不満をもち、七家騒動を起こした。七家の訴状は個人攻撃をした。新政策は国風にあわぬ、賞罰に偏向がある等々の不満の意を表したもので、治憲(鷹山)は主たる家臣を集め、その内容が事実かどうか確かめ、事実なしとの結論を出し、即刻7人を処罰した。やさしい反面、厳しさもあった。

- ・政治理念

「伝国の辞」として、内容は代々の藩主に受け継がれた。

- ・質素儉約

儉約令を出し、自らの仕切料(殿様の生計費のこと)を従来の1/7にして、人員を減らした。

- ・孝養

自ら質素な生活をしていたが、養父重定の華美な生活には理解を示した。

- ・思いやりの心

上司、部下へだたりなく心を配り、困った人には自ら手を差しのべ、思いやりの心を忘れず、現在も「鷹山公」と地元の人から親しまれている。 鷹山はじつと藩士、領民の改革への意識が高まるのを待ちながら、自ら儉約等を率先し、教育に力を入れ、後戻りしない改革の道を選んだ。

儒教の地道な教えを忠実に実行した現代にも通ずる政治家と言える。

(記録 中野 義光)

懐かしの映画音楽 IV

話し手 立川 富美代

司会 大高 秀夫

懐かしの映画音楽第四回目のサロンで、内容については偶然との事だが、各部門のアカデミー賞受賞作品が揃った。また、特別企画として「懐かしの日本映画音楽」で、若かりし日の名優達の姿を偲ぶことが出来た。

① 80日間世界一周

(1956年 アメリカ 主演デビット・ニーブン アカデミー音楽賞他4部門受賞)

1872年、イギリスのクラブで賭けをした主人公が、世界一周を期間内で達成する物語。出発時に乗った気球からの美しい風景をバックに、タイトルと同名の華麗なワルツが流れ、アルプスを越えるシーンが印象的。

② カサブランカ

(1949年 アメリカ 主演イングリッド・バーグマン、ハンフリー・ボガード アカデミー賞3部門受賞)

1940年、フランス領モロッコの大都会カサブランカで、亡命を計る反ナチ運動家の妻と、昔の恋人のナイトクラブ経営者とのラブ・ストーリー。黒人ピアニストの弾く「時のたつまま」は、2人の思い出の曲で、1931年のヒット曲。また、クラブの女性歌手が奏でる「薔薇のタンゴ」も懐かしかった。

③ ティファニーで朝食を

(1961年 アメリカ 主演オードリー・ヘップバーン、ジョン・ペパード アカデミー賞主題歌賞受賞)

オードリーの役はコールガールで、アパートの隣に越して来た作家と仲良くなるラブ・ストーリー。ヘンリー・マンシーニ作曲の主題曲「ムーン・リバー」は大ヒット曲となった。

④ 皇帝円舞曲

(主演ビング・クロスビー、ジョーン・フォンテーン)

アメリカ人のセールスマンが発明されたばかりの蓄音機をオーストリー皇帝に売り込みに行き、そこで伯爵令嬢と恋に落ちる物語。タンゴの原曲である「奥様お手をどうぞ」が、スロー・バラードからワルツと多彩な編曲で奏でられ、終わりにヨハン・シュトラウスの「皇帝円舞曲」が華麗に流れる。

⑤ 掠奪された七人の花嫁

(1954年 アメリカ 主演ハワード・キール、ジェーン・パウエル アカデミー賞ミュージカル映画賞受賞)

オレゴンの中での農場を営む7人の兄弟。お兄さんが連れて来たお嫁さんら女性を口説く事を教えられた弟達6人が、古代ローマの略奪結婚を見習い、花嫁を村から盗んで来る物語。兄嫁のジェーン・パウエルが歌う行儀作法の歌「恋人探し 恋のABC」にからむダイナミックなダンスシーンが圧巻。兄を演じたハワード・キールはミュージカル・スターのNo.1。

⑥ 慕情

(1956年 アメリカ 主演ウィリアム・ホールデン、ジェニファー・ジョーンズ アカデミー賞作曲・主題歌・衣装部門受賞)

1949年、香港中国政府の將軍の未亡人と、アメリカ人の新聞記者とのラブ・ストーリー。朝鮮戦争の取材に飛んだ記者が帰らぬ人となる。主題歌の「ラブ・イズ・ア・メニィ・スプレnderド・シング」は永遠のヒット曲となり、スタンダード・ナンバーにランクされている。

⑦ 王様と私

(1956年 アメリカ 主演ユル・プリンナー、デボラ・カー アカデミー賞5部門受賞)

1862年、シャム国王のもとに家庭教師として来たアンナの物語。風俗習慣の違いを乗り越え、最後はお互

いに気持が通じ合う。 国王がダンスを覚えようとする場面の「シャル・ウィ・ダンス」は大ヒット曲となった。

【特別企画】 懐かしの日本映画音楽

- ・1940年 蘇州夜曲「支那の夜」から 季香蘭、長谷川一夫
 - ・1945年 リンゴの歌「そよかぜ」から 並木路子、上原謙、佐野周二
 - ・1948年 懐かしのブルース 高峰三枝子、上原謙
 - ・1949年 銀座カンカン娘 高峰秀子、岸井明
 - ・1950年 長崎の鐘 若原雅夫、月丘夢路
 - ・1959年 ひばりの花売り娘 「憧れのハワイ航路」から 美空ひばり、岡晴夫
- 以上、貴重なモノクロ・ビデオで観賞することが出来た。

各名場面（VTR）と名曲の連続で、楽しいひと時がアッと言う間に過ぎ、「もっと時間が欲しい」「またの機会に」が、参加者の思いとなった終幕であった。

（記録 岩岡 茂之）

シルバーエイジを輝いて過ごすために 一年をとるってどういうことー

話し手 石田 雅巳
司 会 古川 純香

話をする人：東京都生れ。産婦人科医。元・八王子保健所長。現在介護老人保健施設「ぐらんぱぐらんま」施設長。日本性科学会「中高齢者のセクシュアリティ研究会」所属、同学会認定セックスセラピスト。オペラバレエ鑑賞、コーラス等を趣味とし、とくにオペラに関して造詣が深い。

私は、産婦人科医として長年の診療・研究を通して、思春期から更年期・老年期までの男女の生き方をずっと見つめてきた。その後、保健所では、人々の生活の場に飛び込んで問題解決に当たったあと、現在の老人保健施設では、100人近いお年寄り（平均年齢84歳にかかりつけ医の立場でケアをし、「充実した老後はいかにあるべきか」を日々考えている。

1 長寿時代

今や長寿時代を迎え、長い老後を男として女として互いにいい関係を保ちつつ最後まで充実して過ごすために、いかにプログラムし、どうチャレンジしていくか、が大きな課題となっている。長寿と長命は違う。お年寄りの長生きが、周りの人々にとっても幸せや喜びとなり、皆で「長命」を寿ぐことが、真の「長寿」である。

65歳以上の高齢者人口が総人口の7～14%を占める社会を高齢化社会、同人口が14%超の社会を高齢社会と呼ぶが、我が国は既に17%近くに達しており、完全な高齢社会に突入している。1990年頃から急上昇している高齢者人口の比率は、先行き2020年頃までには25%を超えると推計されている。一方、合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子の数）は、1.4（平成13年）を割るまでに低下（同比率が2.06～2.08のときに人口が横ばい）しており、総人口が減少するなかで高齢者が急増するというパターンになっている。この結果、介護する人もされる人も高齢化し、たとえば、70歳代の人が90歳代の人を介護するという、老老介護が広範化しつつある。このような事態に対処して、わが国でも、2年前に介護保険制度が発足した。これまでのところ比較的順調に推移してきたが、今後、現在40歳からとなっている保険料負担年齢の引き下げを検討するなど、種々見直しが必要となつてこよう。

家庭で介護する人は、女性が中心となっており、昭和60年度には女性の割合が89%、平成7年度には低下したとはいえなお77%を占めており、また被介護者との続柄は、妻、娘、息子の妻、夫の順となっている。ただ、近年は夫がやや増加（60年度6%→7年度11%）しているのは好ましい傾向である。欧米では、老いた夫や妻がつれ合いの車椅子を押していたり、老夫婦が互いにいたわりながら仲むつまじく散歩している光景をよく見かけるが、わが国では未だそこまでいっていない。寝たきりの期間は5～10年が最も多く（7年度25%）、またその原因は、脳卒中、高血圧、心臓病・骨折・痴呆の順となっている。老後を健康に過ごすためには、この五つの病気にかからぬよう、普段から気をつけて生活することが肝心である。

2 老化とは何か

簡単にいうと、「小さく、硬くなって、水気が減ってくる」ことである。

各臓器の細胞数は、20歳をピークに加齢とともに減少していく。ただし、心臓のみは、血管の弾力性低下やコレステロールの血管内壁付着等に対処して血流を確保するため、肥大する。また、神経の伝達速度、基礎代謝、心臓拍出量、肺活量等の生理的な諸機能はいずれも低下していく。こうした機能低下は男女でほとんど差がないが、ホルモンだけは男と女で大きな差がある。

すなわち、女性ホルモンは、大脳視床下部→脳下垂体のルートの指令により卵巣から分泌されるが、卵巣の機

能は、思春期から上昇してピークに達したあと、45歳頃からの閉経期に入ると急速に低下しはじめ、60歳頃までには、排卵、ホルモン分泌ともほぼ消失する。この結果、副腎ホルモンの激変緩和機能も及ばず、自律神経の失調を招き、個人差があるとはいえ、様々な更年期障害が現れることとなる。お年寄り特有の骨粗しょう症は8割方女性に起こるが、これもカルシウムの摂取を助けている女性ホルモンの減少が影響している。これに反して、男性では90歳近くまで男性ホルモンが分泌され、精子を作る機能も残る。女性特有の更年期の症状の緩和にはホルモン補充療法も有効ではあるが、何よりも男性が女性の生理的・心理的特性をよく理解し、暖かく支えてあげることが大切である。

また、筋肉の衰えによって尿失禁が起こったり、関節の骨や靱帯が老化し変形性膝関節症になったりするほか、眼、耳・咽喉などいたるところの機能が衰える。このように生理的な老化現象は、身体機能の予備力適応力、回復力、防御力の低下となって現れるのである。

3 高齢者の病気

次のような特徴がある。

- ①いくつかの病気を同時に持っている。
- ②典型的な病状や病態をみせない。また個人差が大きい。病状が軽いか、あるいはあいまいなことがしばしばあり、自覚できないこともある。
- ③次々に連鎖的に病変が加わる。
- ④治りにくく、回復が遅い。慢性化した病態を残してしまう。
- ⑤精神症状や神経症状を示しやすい。

お年寄りの元気がなくなる。食欲がなくなる。風呂に入りたがらない。直ぐ横になりたがるなどという状態は、心臓病や脳梗塞等の病気の前兆であることが多く、周りの人々は、こうした小さな病変を見逃さないよう普段から細かな観察が必要である。また、適量の水分の補給が大切で、たとえば、脳梗塞は水分が不足して血液が濃くなる明け方に起こることが多い。外出後の手洗い、うがいや寝る前の歯みがき励行も、細菌感染を防ぐうえで欠かせない。

とくに、寝たきりになると、身体の不調をくどくど訴える。自己中心でわがままになり、怒りっぽくなる、劣等感を抱き、ノイローゼ状態になる、など特有の状態に陥るため、周りの人々はお年寄りの辛さをよく理解し、我慢強く接してあげなければならない。

4 痴呆

痴呆のお年寄りは、現在65歳以上の高齢者の7%程度であるが、30年後には10%を超えると予測されている。痴呆のうち、アルツハイマー型は、原因不明の脳の萎縮によるもので、初老期に発症することが多く、進行は比較的緩やかである。記憶障害に始まり、進行すれば人格も変化する。女性に多い。今のところ予防は不可能である。一方、脳血管性痴呆は、急激に発症し段階的に悪化する。部分的にまだら呆けとなるが、人格が変わることは少なく、応待も自然である。男性に多く、飲酒、喫煙の習慣や糖尿病、高血圧、高脂血症、循環器病が背景因子となっていることが多い。

老年期は、人生最後の時期であり、伴侶の死をはじめ健康の衰え、生きがいの喪失、死に対する恐怖、不安、孤独などさまざまな喪失を体験することとなるが、痴呆に陥ると、こうした喪失感が一層強まり、種々の問題行動を起こすこととなる。

具体的には、

- ・記憶力低下、物忘れ(食後に直ぐ食事を要求するなど)
- ・幻覚、妄想(物盗られ妄想など)
- ・徘徊

- ・夕方たそがれ症候群(夕方になると落ち着かなくなったり、不機嫌になる)
- ・攻撃的態度、異食、失禁、不潔行為、性的行動、などである。

こうした痴呆のお年寄りをケア(世話をする、気を配る、注意する)していくには、次の点に留意することが大切である。

- ①受容的かつ支持的にかかわること(叱っても叱られた原因は忘れ、屈辱感だけが残る)。受容とは、問題行動そのものを受容するのではなく、問題行動を起こさざるを得ない心情を受容すること。問題行動は何らかの代償行為であることが多く、その原因を探して取り除いてあげたい。
- ②お年寄りを尊重し、訴えには何度も付き合い、徘徊にも同行するなど、忍耐強く柔軟な態度で臨むこと。
- ③情報は、近くでわかりやすい言葉で簡単に伝えること(同じ目線で、笑顔を忘れず、肩を抱く、手を握るなどのスキンシップも。「ほめる」「おだてる」も有効)。
- ④できるだけ特定の人物が対応すること(キーパーソン作り)。
- ⑤生きがいとなる活動、役割、仕事を与え、存在意識を高めて生活の活性化を図ること。

残念ながら生理的な老化は避けることができないが、病的な老化はできるかぎり予防したい。そのためには食事、運動、睡眠など規則正しい日常生活を送ることが基本である。健康な睡眠とは、入眠後30分前後で深い眠りに入ったあと、レム睡眠・ノンレム睡眠のリズム(90分1単位)を4～6回繰り返して7～8時間後に目覚めるというパターンである。とくに11～2時(黄金の3時間)の熟睡ピークは是非確保したい。そのためには、口(食事の門限は夜8時)ということになる。毎日の食事、栄養のバランスを考えた多彩な食物を、ゆっくりとおいしく楽しく採るようにしたい。

また、必要な検査、健康診断は定期的にきちんと受けるようにしたい。乳がんは、自分でも発見できる唯のがんである。女性は、月1回は入浴の際などに自分で検査してみるようにして欲しい。

最後に、ある医師が提唱している健康のための「四重く^{しじゅう}」を紹介しよう。
「明るく、楽しく、気らくに、動く」である。

(記録 佐々木 研吾)

玩具と共に**—おもちゃドクター四方山話—**話し手 **武田 洋一郎**司 会 **阿部 幸子**

話をする人：電機メーカー定年退職。 システムエンジニア、総務管理職の経歴。 現在行政書士事務所
開業。在職中よりボランティアで、八王子市リサイクル公社あったかホール・おもちゃ病院
ドクター。

配布された資料を基にして話が進められた。

1 玩具の系譜

おもちゃは、子どもたちにとって教育の始まり、科学に触れる第一歩だといわれている。 おもちゃは子どもたちの日常生活の中に豊かな夢を育ててゆかなくてはならない栄養源である。

「おもちゃ」という言葉が文献に登場するのは江戸時代だ。 明治30年代になって「玩具」と表記し、小学校の教科書には「おもちゃ」が使われた。 「玩」は「持ち遊び」の意味であり、これが「おもちゃ」に変化したものと推測される。

おもちゃの歴史は古く、有史以前からとされ英国のクエン・ホワイト女史の著書で玩具の歴史をBC3000年以前～AD1970年までを体系的に時代に分けて解説している。

日本の玩具の始まりは、聖武天皇の木画紫檀双六局といわれるが、平安時代に知られている雛遊び、独楽等は、中国、朝鮮から渡来したものという。 江戸の文化・文政期に玩具が華やかに登場した。 「嬉遊笑覧」には300種ほどのあそびが記載されている。 明治・大正期には、ブリキなどのハイカラ玩具も出てきたし、児童雑誌も教育玩具の普及を加速させた。 また、駄菓子屋は子どもたちのサロンとして玩具屋を兼業していた。 昭和初期～終戦期には、ゼンマイ仕掛けや、ヨーヨー、セルロイド玩具、工作玩具などもさかんになった。 太平洋戦争突入で金属玩具は製造禁止となった。 戦後の復興・高度成長期には、金属玩具の第1号として缶詰空き缶利用のジープ、お菓子の景品、キャラクター玩具、プラモデルなど。 昭和50年代以降は、ハイテク玩具となった。

2 玩具の分類

玩具の分類方法は視点を変えると多岐にわたるが、

- ①形 状：乗り物、動物、SF物、キャラクター物、マスコミ玩具、その他
- ②材 料：金属、セルロイド、木、竹、紙、布、ゴム、ガラス、陶磁器、ビニール、プラスチック
- ③教育性：持ち遊ぶ、動かして遊ぶ、鳴らして遊ぶ、飾って遊ぶ、真似して遊ぶ、練習して遊ぶ、工夫して遊ぶ、不思議を楽しむ、勝負して遊ぶ

等にまとめられる。

3 世界のおもちゃ文化

ドイツ：おもちゃ先進国として君臨している。「普遍性」「創造性」「耐久性」「安全性」「非暴力性」に配慮。「火薬を使ったおもちゃ」「電池を必要とするおもちゃ」は少ない。

アメリカ：「ユニークなおもちゃ」を生み出す遊びの天才。 玩具はヨーロッパが先進していたが、1970年代に入って「おもちゃ大国」になった。 教育玩具に力を入れている。

ロシア：かつては世界の「三大おもちゃ大国」の一つで「民族玩具の世界的宝庫」といわれている。 3つの専門の「玩具研究所」で調査研究・製品化していた。 子供たちの必要なおもちゃを教育・心理学者・医者・現場の実践家等が関わっておもちゃ作りのシステム化がされていた。

フランス：他のヨーロッパの国々に比べ、「美意識」と「品質」に配慮しているのが特徴的。1890年代に人形・金属玩具とともにドイツに市場を奪われ、急速に衰退した。

4 現代の玩具

日本の現代のおもちゃは、旧来の遊びのおもちゃに加え、漫画・テレビアニメのキャラクターグッズとゲームマシンが主流になってきた。1960年～1970年代では鉄腕アトム・ウルトラマン・鉄人28号・仮面ライダーシリーズ・ゲームボーイ等。1990年代にはスーパーファミコン・美少女戦士セーラームーンシリーズ・プレイステーション・リカちゃん人形・たまごっち・ポケットモンスター・等。

5 おもちゃの選び方

脳の80%までが生まれて3歳までに形成させると言われている。つまり乳幼児期の生活が子どもの一生を左右するといっても過言ではない。成長の過程にしたがっておもちゃを与える考え方が必要だし、ヨーロッパでは、このような考えが定着、体系化されている。また、おもちゃは安全であることが特に必要だ。

日本玩具協会では安全基準を制定しており、合格製品にはS Tマークをつけることにしている。

6 おもちゃドクター物語

最近、各地にいろいろな形態でおもちゃ病院が開設され好評のようだ。ボランティア組織としては目黒区消費者センター内に出来たのが先駆けで、ドクターの全国的組織である「おもちゃ病院連絡協議会」も設立されており、その会員も300人を数える。おもちゃドクターは、第一線を退いた人が多いが、皆社会参加が好き、好奇心旺盛、子ども好きな人たちだ。

診療は便宜上、内科・外科等と分けているが、専門医がいるわけではない。診察代は臓器移植(部品交換)以外は無料だ。

修理道具、消耗品、活動費なども全て自前の出費なので忙しいほど赤字になるが、子どもの喜ぶ顔を見、ボケ防止になると思えば、決して損ではない。子どもと直接話し、科学する目を養い、使い捨てに警鐘をならすことなども、ドクターとしての喜びであり、生きがいでもある。

故障の主な原因は、電池切れ、電池の液漏れ、電池押さえ金具の破損、スイッチ周りの破損、接触不良、断線、ギア、モーター周りの故障、ゴムベルトの劣化、電子部品の故障、可動機構の折損等だ。症状の多くが電池関連であることから、電池の特性をよく知るとともに、電池による事故防止に注意したい。また、接着剤も使用目的によって選択しなければならない。万能の接着剤はない。P L法の影響で密閉構造の物が増え簡単に分解できず、奇麗に元に戻せないこともある。

ドクターとして子どもが喜んでくれたときの最大の喜びだが、反面、これはどうかなと考えさせられることも多い。親の子どもに対するしつけ教育の問題が大きいと感ずるときがある。

話の後、「ミッキーマウスのピアノ」の修理実演があった。症状は音階の「ラ」の音が鳴らないというもの。ピアノを分解して中のプリント配線の接点を清掃することで、昔が出た。参加者一同思わず拍手。捨てられる運命のおもちゃが見事に蘇った。時間の関係で、修理はこれ1件のみだったが、物を大切にということを考えさせられるテーマであった。

(記録 大山 泰)

動物たちの21世紀

話し手 松尾 信一郎

司 会 桂 元二

話をする人：東京都勤務・保健行政の分野を歴任。 また余暇には多摩動物公園ボランティアとして活動。

資料が配付され次のように話が進められた。

1 チンパンジーやパンダやコアラ

動物園で子どもに人気のある動物たち、これは先行きあまり明るくない動物なのだ。 このままでは、次の世代の子どもたちが目にすることができない時代がくるのではないか。

17世紀以前には地球上に満ち溢れていた野生動物は、すでに、極端な速さで絶滅への道を歩みつつあり、何十万種もの生物種が減んでいってしまうという、たいへんな時を迎えている。

これは単に野生動物のみの問題ではなく、将来の人類の危機に転化するという全世界的な問題でもある。そこで東京都の動物園では、IUCN(国際自然保護連合)のアピール1980に沿って、この危機的状況に対処するため、「ブースト計画」を実施することとしている。これは動物園で現在飼育している動物のうち種類を選定して、その動物を繁殖させていこうというものだ。

2 野生動物の衰退と現状はどうか

人間と動物の関わり合いの中で一番酷い目に会ってしまっている動物・・・アメリカ野牛パイソン(バッファロー)。17世紀には、6~7千万頭が黒い絨毯のように平原をうずめていた。自然はそのような多数の生物を養う力をもっているのだ。ところが白人の移住・開拓の都合で駆除を始め、さらに商業的狩猟によって激減し、1880年過ぎには700頭位になった。そこでようやく保護活動が始まり、野性動物保護区などが設置されて現在約6万頭が生息していると言われる。

アフリカでは、1800年以前には土地の人たちは、野性動物と共生をしながら生活をしていた。しかし白人の植民地政策が始められ、自然も人間もともに支配し、土地を占有し地下資源を求め、その上ハンティングを楽しみ、角や象牙、毛皮などを商品に変えて輸出した。その後、野生動物の減少のため保護を考え、その施設として自然公園を作り観光資源として利用している。

ケニアでは、現在22の自然公園と24の自然保護区があると言われているが、全部合わせてもケニア全土の8%という。現実はこの地域の外にも野性動物は生活している。

【被害を受けた主な動物たち】

アフリカ：アフリカ象、クロサイ、シマウマ、ゴリラ

アジア：トラ、オラウータン、マレーバク、モウコノウマ

日本：タンチョウ、日本コウノトリ、トキ、ヤンバルクイナ、ツシマヤマネコ、イリオモテヤマネコ

3 環境破壊

人間は地球上の生物に対して、さらに別の大きな問題を生じさせている。世界各国で大量の農薬・殺虫剤が農地・森林・牧場等に散布され、野生動物・家畜・魚介類そして人体にも被害をひろげている。

米国のレーチェル・カーソンは約50年前に著書『滅び行く未来』により、環境ホルモン(内分泌攪乱化学物質)の問題、化学物質が生物の性別に影響を与えると報告した。多摩川には、雄とも雌ともつかない鯉が発現しているのだ。

また、地球温暖化の問題がある。二酸化炭素により地球の平均気温が上昇している。平均海水面の上昇、降水量の変動などによる農作物への影響、特に食料生産の減少があり、世界人口の増加傾向と合わせて大きな

問題だ。

4 終わりに

現代の人間は、先人の残してくれた偉大な遺産で文明を共有し、豊かな生活を楽しんでいるが、将来の人たちに何を残すことができるだろうか。このままでは、人をはじめ地球上の動物たちの未来はなくなる。

人間も地球上の生態系の一部であることを考えたとき、将来に向かって何ができるだろうか、考える時に来ている。

話の後は、種の保存、特別天然記念物、動物愛護法、有害動物駆除、アフリカの公園や密林など、さまざまな話題で懇談が行われ、これからの人と地球の問題を考える意義深いひとときを過ごした。

(記録 浅輪 豊治)

楽しく歌おう、世界の歌を

話し手 五十嵐 淳
司 会 立川 富美代

話をする人：八王子市内小学校・音楽教師。 八王子フィルハーモニー合唱団や男声、女声合唱団など各方面で合唱指導。 伴奏は八王子フィルハーモニー合唱団専属のピアニスト・畑野かん奈さん。

「昨年につづき、今年も楽しく歌いましょう。 歌の合間にお話をしますので、聞いてください。 今年も絵本の紹介から始めます。」と、流行歌手の五木ひろし作『たこがピアノをひいた時』やモダンジャズピアニスト山下洋輔作の3冊の絵本『月夜の音楽会』『ドオン』『もけらもけら』を紹介した。 その中から『もけらもけら』を読んだ。 もぐらなのか、おけらなのか意味不明の“もけらもけら”。 絵も人間なのか、つくしなのかなんだか分からない不思議な絵本だ。 「場の雰囲気や和らげるため、3分間人格が変わります」と、声の大小、強弱、速さ、等を変えながら、意味不明の言葉を表情豊かに読んでいく。 意味のない短い言葉なのだが、聴いている内に不思議に心が和む。

ここで最初の歌になった。 今年も季節の進みがはやいのでと、季節先取りで「茶摘み」を歌う。 子供の頃この唄に合わせて、「せっせっせのよいよいよい」など動作をつけて遊んだことを思い出し、動作をつけてもう一度。 2拍子の歌なのだが、最初に手拍子をつくと、拍子がずれるので難しくなる。 でも、各地の盆踊りなどには多いそうだ。

5月といえば「背くらべ」「鯉のぼり」どちらも3拍子。 作曲家が曲を作る時最初に曲名を決め、次に、速さを決める。 同じ曲でも、速さによって感じは大きく変わるからだ。 子供は明るくはっきりしたリズムやテンポを好むが、年を取るにしたがってテンポは遅く、リズムも延ばしがちになる。 これは、日本の演歌の特徴である。 速めのテンポで明るく歌うと若返る。

ところで、多くの歌集を見ても同じ題名の曲は少ない。 「砂山」は、中山晋平と山田耕作のとがある。 詩も題名も同じなのは珍しい。 中山のものは伴奏で太鼓をイメージしている。 山田のものは、じとっと暗いが、格調高くえりを正したくなる感じがする。

「野ばら」は、シューベルトとウェルナーの曲が有名だが、ヨーロッパにはこの「野ばら」に二百数十の曲があるという。 よい詩があると作曲家は曲をつけたくなるらしい。

ここで趣をがらりと変えて、今巷で流行っている「おさかな天国」はどうだろう。 魚屋だけでなく、八百屋や、本屋、スーパーなどでも流されている。 「サカナサカナサカナ…」という途中からは子供達は得意だが、歌い出しの部分はあまり得意ではないようなので、初めから歌えれば子供達や孫にも自慢が出来るということで歌唱指導あり。

ティータイムの後、話はシューベルトに移る。 滝廉太郎は23才という異例の早さで没したが、若くして死んだ作曲家にひかれる。 もし生きていたらその後は…等と考えるからだ。 シューベルト(31)、モーツァルト(35)、メンデルスゾーン、ショパン、ビゼー(38)。 ちなみにベートーベン(56)だ。

五十才代のベートーベンと若いシューベルトは同時代に生きていたのだが、ベートーベン(56)は太陽であり他の作曲家は月のような存在だ。 若く死んだシューベルトの曲が残っているのは、《歌》を作ったことだ。 ベートーベン(56)は「素材」を構築し、推敲に推敲を重ねて曲にする。 シューベルトは構築が苦手。 ただ「ひらめき」が、美しく、印象深く、センスがある。 ①ゲーテ、ハイネ等の良い詩をつかっている。 ②ピアノ伴奏に意味を持たせている。 ③詩の内容によりメロディを変化させ、詩の言葉をだいたいしている。

例1：「魔王」は、シューベルト18才の時の作曲で代表作だ。 病気の我が子を腕に父親が、嵐の森を馬で

駆け抜ける場面では、伴奏が嵐や馬の疾走する様を表している。 伴奏者にはかなりきつい奏法だ。

例2：「菩提樹」の伴奏は、木のざわめきの音を。

例3：「ます」では、川の流れを表現している。 意味のない伴奏はなく、メロディも美しい。

シューベルトの親は小学校長だったが、14人兄弟の彼は思うように音楽ができないため、難関を突破して国立のウィーン少年合唱団に入った。 ここなら生活も音楽も面倒を見てもらえる。 優秀な成績だったが、声変わりのため退団させられた。 どうしても音楽家になりたいシューベルトは、ウィーンに出てきたが、売れず、貧しいまま、勤めなし、結婚も出来ず、家もなしのまま31才でこの世を去った。

「野ばら」「ます」「菩提樹」を歌った後、歌を一休みして伴奏の畑野さんのピアノ演奏で「楽興の時」を聴いた。 華麗な粋な感じだ。 「魔王」だけを18人の歌手が歌っているCDが出ている。 歌い手にとってこの歌はそれだけ魅力的なのだろう。

シューベルトはこの辺にして、歌に戻った。

「みかんの花咲く丘」リラックスして明るく、のびのびと声を出す。

最後のテーマは、昭和史を飾ったちょっと気になる作曲家の歌を集めてみた。

- ・浜口康之助(平易なリズム感のある、いい感覚の持ち主。印象に残る作曲家) 「バラが咲いた」。
- ・平尾昌晃(簡単なメロディだが、言葉がきれいに聞こえる良い曲だ) 「瀬戸の花嫁」。
- ・中村八大(アメリカヒットチャート第一位、単純だが日本的なものを持っている曲) 「上を向いて歩こう」。
- ・いずみたく(ミュージカルに力を入れたので知っている歌は多くない) 「見上げてごらん夜の星を」

センスよくしやれた曲。同じメロディを4回繰り返すが、ピアノ伴奏は全て変えてある。

続いて話し手が持参のバイオリンで「キス・オブ・ファイア」(エルチョクロ)と「ジェラシー」を演奏。

最後に、「夏は来ぬ」「夏の思い出」「四季の歌」を歌って歌のしめくくりにした。

まとめとしての言葉。

これをきっかけにシューベルトを愛して欲しい。 時々、歌を歌って欲しい。 若々しく、少し速めのテンポで。 ゆっくりの曲は大らかに。 写真家土門拳の言葉に「年齢は背中に出る。やる気(気力)は、目に出る。知性は声に出る。」というのがある。

話し手が用意した、歌集の17曲を全て楽しく歌った。 話の面白さと合わせて時の経つのが感じなかった。

(記録 大山 泰)

大好きな良寛さま

話し手 近藤 泰雲

司会者 土井 俊玄

話をする人：長野県飯田市出身。元・東京都立高等学校事務長、全国公立高等学校事務長会の調査・研究・総務部長歴任。退職後、仏門に入り修行を重ね、現在は郷里の菩提樹と八王子と毎月半々の生活。

話し手の主導により全員で「今日もよき日でありますように」と唱えて、あたたか空気が生まれたところで持参のテープ「良寛さま」の歌を聞き、資料が配布されて話が始まった。

1 幼児から少年時代

良寛の在所は、宝暦8年(1758)12月、佐渡の御用金の荷揚げ港として栄えた、越後出雲崎の代々名主の橘屋と石井神社の神主を兼務する名家であった。父山本以南・母秀の長男として出生。幼名は栄蔵。隣町の尼瀬の名主京屋との確執、また父以南は俳句を好み、風流三昧の生活をしていたので、家運は傾きつつあった。

少年栄蔵は、人見知りする内気で神経質の反面、我慢強い性格で、一方学問を好む読書家だった。後年孤独で、わびしい五合庵の生活にも耐えることが出来たのも、このような性格によったのかもしれない。当時の栄蔵を評して「名主の昼行灯」と言われた。

ひとたび思う 少年の時 書を読んで空堂にあり

灯火にしばしば油を添え 未だ冬の長き夜を厭わず ー良寛ー

2 出家・修行時代

栄蔵は15歳で元服、18歳で名主見習となった。家督を継いで間もなく、漁民と代官所との争いに、名主としての力量に絶望を感じ、世を捨て、隣町尼瀬にある曹洞宗の光照寺の破了和尚の下に逃げ込み出家をした。22歳、備中岡山の円通寺の国仙和尚の下で得度。僧堂で修行に励みはするが、その間友人・知人が一人もできず、孤独の日々を過ごす。師匠の国仙和尚だけが、良寛の愚を単なる愚鈍とは見ず、誰もが到達出来ないすばらしい愚の境涯と認めた。

良也愚の如く 道うたた寛し 臆々として運に任せ 誰か看るを得ん

為に付す 山形爛藤の杖 到る処の壁間 午睡の閑なり ー国仙和尚から良寛への印可の喝

33歳、死を予期した師の国仙和尚から、印可を受けた良寛は、師匠の遷化後、4年程全国を行脚して僧侶としての生き方を模索し、最後に乞食しつつ、文学の道を選び49歳で生まれ故郷の越後に帰った。

3 生まれ在所の越後時代

来て見れば 我が故郷は 荒れにけり 庭も籬も 落葉のみして ー良寛ー

40歳、山中独居の修行に好適な、国上の六畳程の広さの「五合庵」に15年間住む。

焚くほどに 風が持てくる 落葉かな ー良寛ー

霞立つ 永き春日を 子供らと 手鞠つきつつ この日暮らしつ ー良寛ー

道の辺に すみれ摘みつつ 鉢の子を 忘れてぞ来し その鉢の子を ー良寛ー

良寛は、子供と手鞠やかくれんぼをしたりして、遊びながら子供の純粋な心を生涯求め続けた。良寛は、名利を求め驕慢に走るのを戒め、最低の乞食の生活をしながら詩作する日々の生活を送った。

4 最晩年時代ー貞心尼との心の交流ー

69歳、五合庵は托鉢するのには体力的に困難になり、島崎村の木村家の納屋に住むことになった。その頃、長岡藩士の娘で離婚後出家した貞心尼は、是非弟子にしていだこうと良寛の下を尋ねたが留守であったので、

和歌と共に手鞠を置いて帰った。

これぞこの 仏の道に 遊びつつ つくやつきせぬ みのりなるらむ ー貞心ー

良寛は、留守を詫び、次の歌を届けた。

つきてみよ ひふみよむなや ここのとを とおと収めて またはじまるを ー良寛ー

良寛と貞心尼との詩歌の交流は、40歳という年齢の差を越え、純粹ですばらしい相聞歌と考える人もいるほどである。貞心尼の「はちすの露」に収録されている。

天保2年（1831）74歳の正月、危篤の報に接し、貞心尼が駆けつけた折り

いついつと 待ちにし人は 来たりけり 今は相見て 何かおもはれ ー良寛ー

かひなしと 薬も飲まず 飯断ちて みづから雪の 消ゆるをやまつ ー良寛ー

最後に

生き死にの 境はなれて 住む身にも さらぬ別れの あるぞ悲しき ー良寛ー

うらを見せ おもてを見せて 散るもみじ ー良寛ー

おわりに

良寛さまが大好きな理由は、我欲のかたまりの世の中で、泥沼の中に咲く、美しい二輪の蓮の花のような存在だからである。良寛さまを語るには、なかなか一回では難しい。しかし、良寛さまの人間性の一端に触れていただけたかと思う。

話し手から多くの資料などを示され丁寧に説明があったので、参加者の良寛さまへの思いが更に深められたようであった。話の後には、お茶をいただきながら、その話題で和やかなひとときを過ごし、今年も話し手お手製のしおりをもらい、「良寛さま」の歌を聞きつつ散会した。

（記録 浅輪 豊治）

我が町八王子の祭り

話し手 宮崎 浩平
司 会 安藤 美代子

話をする人：八王子生まれ。 八王子の祭に詳しい。 元・日立キャピタル(株)参与。 趣味は歴史研究、ゴルフ、囲碁など多才。

1 八王子の祭り

①古くから八王子に伝承されてきた「祭」

八王子は古い町であり、旧市内には古来より引き継がれてきた「祭」がある。 八幡、八雲神社「^{しも}下の祭」、多賀神社「^{かみ}上の祭」の他に、浅間神社(富士森公園)の「団子祭」、八木町笠間稲荷の「トウモロコシ祭」、小門町の「五人地蔵」、新町永福稲荷の「ショウガ祭」、上野町の天満社の「泣き天神の祭」など、数多くの親しまれてきた祭がある。 その中でも「祭」の中心は「下の祭」「上の祭」であった。

②八幡、八雲神社「^{しも}下の祭」

例祭日は、八幡神社は9月15日、八雲神社は7月23.24日に行われ、八雲神社の祭礼は「下の祭」として親しまれてきた。 八雲神社の御神体は牛頭天王という疫病除けの疫神であり、最初は八王子城の八王子権現にあり、御神体が「新編武蔵風土記」などによれば慶長年間ごろ八王子城の落城後、浅川のほとり、新町辺りの板屋淵に流れ着いているのを五兵衛という百姓が拾いあげて、八幡神社に奉祀したと言われている。 京都の祇園祭と同じ牛頭信仰より始まって居り、現在は牛頭天王が素佐鳴尊に習合し、祭神として奉られている。 また、牛頭天王は八王子の名前の由来、八人の王子の父親と言われている。

③多賀神社「^{かみ}上の祭」

昔は多賀明神と呼ばれていたが、明治の初め多賀神社になった。 当初は、現在の散田の地にあって、「いざなぎの命」「いざなみの命」を祭神としている。 歴史は古く鎌倉時代、北条時頼が詣でたと言われている。 例祭日は8月15.16日である。

④祭礼行事「神輿の渡御」と山車の曳出し

私の住んで居る大横町の道路を挟み、東側は八幡神社、西側は多賀神社の氏子であり、両社の祭事に関係している。

・^{しも}下の祭（八雲神社の祭）

祭は神輿の渡御から始まる。 八雲神社の神輿は昔は浅川を渡御したと言われているが現在は行われていない。 いまは屋台の上に囃子大鼓を取付け、神輿を氏子達が担ぎ氏子町を廻る。 各町内に御神酒所を造り神社の掛軸を飾り供餅、清酒、青果等を奉納する。 神輿と一緒に神主がきてお祓いを行い、隣の氏子町にお渡しする。

・^{かみ}上の祭（多賀神社の祭）

多賀神社には有名な千貫神輿があり、祭の当日は氏子達が担ぐが、祭事には車に載せ氏子町の御神酒所を廻る。 昔はもう一基の神輿(軽い)があり、氏子達が担いで氏子町を廻ったが、いまはその神輿を他の神社に譲渡してしまい、行っていない。

・山車の曳出し

戦前八王子には20台の山車があり、盛況を極めたが残念ながら戦災で8台が焼失してしまい、現在12台が残っている。 これらは市の有形文化財となっている。 その後新しく作られたのが、八日町1.2丁目、上八日町、横山町3丁目、元本郷町、千人町1丁目の山車である。 山車は子供が中心になり曳いていたが少

子化により子供が少なくなり、各氏子町は困って居り、子供達に青年会や大人達等が加わって曳いている。山車には、昔は上に人形をのせて曳いていた。織田信長、神武天皇、素佐鳴尊、浦島、鞍馬、和唐内、諫鼓鳥等が飾られていた。

⑤山車と彫刻

昔は腕の良い宮大工や彫刻師が居り、山車全体に素晴らしい彫物がなされており、特に前面の鬼板や懸魚には中国の三国志や日本の神話の物語が彫られていて、各氏子町の自慢であった。戦後、カーバイトやアセチレンガスを燈火に使用してススが着いたり、雨ざらしにして色が褪色したり傷みが激しかったが、その後修復を行い、現在は立派な山車となっている。山車の曳出しには、囃子連を乗せ曲や舞を行う。特に、山車同士が対面し、叩き合いを行う囃子試合は豪快さがある。以前は山車は下、上に分かれ、氏子町内を曳き廻っていたが、昭和15年(紀元2600年祭)には合同で盛大に巡行した記録がある。

⑥八王子まつりとの関係

今の八王子まつりは神社から離れ、八王子市が中心となり、パレードや鼓笛隊、民謡流し等に山車加わり行っているが疑問点も多い。伝統ある「祭」として本来に戻し、神輿や山車の祭の行事は八王子まつりと区分し、由緒ある神社の祭事として行うべきであるとの意見も多い。

2 お十夜とは

①大善寺の歴史

北條氏照によって開基された浄土宗の寺で、滝山城下、元八王子を経て、八王子城落城後、大横町に移された。大善寺には浄土宗の学問所があり、幕府より寺領として50石が与えられ、2万坪の境内を有していた。関東の名刹18檀林のひとつ。末寺は22寺を数える。昭和36年、八王子市に敷地を売却、寺は大谷町の方に移転している。

②お十夜法会

大善寺のお十夜法会は八王子城落城の死者の鎮魂の為の法会であり、法要は10月6日～15日の10日間行われ、名物お十夜は10月13日～15日一般に開放され念仏をあげる。境内にはサーカスや見世物小屋が掛かり、露天が立ち並び関東全域から人々が集り、連日賑わった。しかし、残念なことに昭和33年を最後に終わってしまった。

③子育て呑龍さま

大善寺3世の住職に呑龍上人という方がおられた。後に、上州大田の大光院を開山。弘治2年(1556)4月25日に生まれ、母親がその子を産む前に龍を呑み込む夢を見たのでその名が付けられたと言われている。上人は非常に子供を可愛がって、多くの捨て子を引き取って育てた。それに由来して今でも呑龍幼稚園が開園されている。

(記録 梅木 松助)

映画「12人の怒れる男」を見る

—市民による裁判とは—

話し手 藤野 豊

司 会 松本 一夫

話をする人：1924年愛媛県生れ。 1952年裁判官となり以後32年間裁判官として活躍。 現在、弁護士。

最初に話し手から映画について概要の説明があった。

この映画は既にみた人が多いと思う。 1957年作の40年以上前の映画だが、大変有名な作品で、陪審映画の最高傑作である。 しかし、この映画はよくある有能な弁護士が有罪の決め手となる重要証人を法廷で反対尋問によって問いつめ、その矛盾を明らかにして無罪を勝ち取るといった法廷映画ではない。

映画は、調べがすべて終り、裁判長が陪審員に対し判決の心構えを話すところから始まる。

本事件の被告人は、18才のスペイン系と思われる少年が父親をナイフで刺して殺したという事件。 米国のある州では、謀殺は死刑と定められており、判決は死刑か無罪しかないので慎重に判断して欲しいと要望し、評決は全員一致でなければならないことを説示している。

事件現場は、ニューヨークのクインズ地区。 そこは移民が多く、スラム街もある。 それなのに、陪審員に黒人が一人もなっていないし、また、女性が一人もいない。 現在ではあり得ないことと思う。 現在では女性の方が多いのでないか。 その理由は仕事に忙しい男性は陪審員を免れようとするので、結局、女性、失業者、黒人が多くなっているというのが現状だと思う。

以上のとおり説明後、映写を開始、随時話し手が画面説明を加えつつ進行、最初、陪審員の評決は11対1で有罪説多数であったが、一人の反対者の説得から次第に無罪支持者が増加して行き、最後は12人全員が無罪の評決をして映画は終わっている。

その過程は、犯罪事実の認定がいかに困難なものであるかを如実に示しており、同時に、私には、一般市民による陪審員制度そのものの信頼性への危惧も示しているように思えてならない。

わが国においても、現在、構造改革の一環として、司法改革が叫ばれ、陪審制導入もその一分野として検討されているが、サロンにおいても話し手と参加者との間にわが国に陪審制度を導入することの可否や、今それを実現する必要があるのか等々。 大変興味深い質疑がなされた。 その2、3を記しておく。

Q：陪審では評決は全員一致が必要ということだが、その必要性はどこにあるのか？

A：多数決制をとると、とことん論議をしないで、簡単に結論を出してしまう危険性がある。

Q：陪審員の選任について資格はあるのか？

A：日本でいうなら住民登録があればよいという程度。 特別な資格を要求することは、かえって制度の趣旨に反することになる。

Q：なぜ、日本にも陪審制度を導入しなければならないのか？

A：民主主義の表れとして、国民が裁判に参加することが求められているのだと思う。 ただ、参加の方法はいろいろ考えられるわけで、わが国で考えられているのは、いわゆる参審制で具体的には裁判員という素人が職業裁判官とともに裁判に参加することが考えられている。 その場合、職業裁判官3人に対し裁判員5人位が予定されているようである。 なお、現在、先進国で陪審制度を設けていないのは日本とオランダのみであるということも考えなければならない。

(記録 成田 章)